MultiPASS C50/C70

ユーザーズガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本機の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本機を十分に活用してください。

MultiPASSをセットアップするには
記録用紙をセットするには
MultiPASS Suiteをインストールするには

かんたんスタートガイド

原稿と記録用紙の取り扱いについて
コピーするには
メンテナンスについて
給紙やコピーで困ったときには

MultiPASS ユーザーズガイド

ファクスを送受信するには
スピードダイヤルを使うには
ファクスで困ったときには

MultiPASS ファクスガイド

C70のみ

パソコンからMultiPASSを操作するには

Windows® 用 MultiPASS Suite ソフトウェアガイド

このマークが付いている分冊は、付属のCD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

- 本書では、C70のイラストを例に説明しています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

取り扱い上のご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

商　標

- 本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

目次

マーク、表記について

本書の中のマークや表記には、次のような意味があります。

- **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**

- **取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**

- 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や破損を防ぐために、必ずお読みください。

- 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

（→n-nnページ）	かっこ内のページを参照してください。
→「かんたんスタートガイド」	かんたんスタートガイドを参照してください。
→「ファクスガイド」＊	MultiPASSファクスガイドを参照してください。
→「MultiPASS Suite ソフトウェアガイド」	Windows®用 MultiPASS Suite ソフトウェアガイドを参照してください。
本　機	MultiPASS C70/C50を表します。
原稿またはファクス*	コピーや送受信する原紙です。
メニュー	本機を設定または変更するときに選ぶ設定項目のリストです。LCDディスプレイに表示されます。 ご利用いただけるメニューとLCDディスプレイの表示は、本機の種類（C70またはC50）や現在のスタンバイ表示（コピーモード、ファクスモード*、スキャンモード）によって異なります。本書では、C70のコピーモードで表示されるLCDディスプレイを例に説明しています。

本書では、操作パネル上のボタンとLCDディスプレイの表示内容を、他の文字と区別した書体で表記しています。

- 操作パネル上のボタンは、次の書体で表記しています。
  ストップ/リセット
- LCDディスプレイの表示内容は、「　」で囲み、次の書体で表記しています。
  「プ゜リンタ　シヨウ　セッテイ」

＊C70のみ

第1章

ご使用の前に

アフターサービスについて

本機は最新の技術を使って、トラブルなどが発生しないよう細心の注意を払って設計されています。
何か問題が発生したときは、まず「第6章　困ったときには」を参照してください。それでも問題が解消されないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）までお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

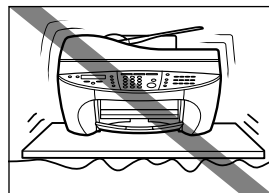
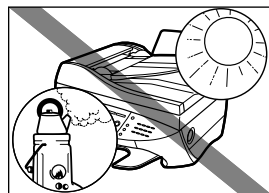
本機をお使いになる前に、次の安全上のご注意を必ずお読みください。また、何か困ったことが起きたときにも参考にしてください。

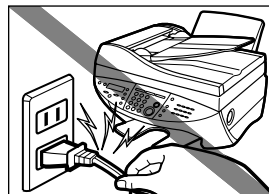
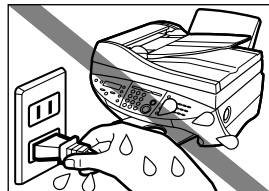
- **本機からは微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れてください。そして、医師にご相談ください。**

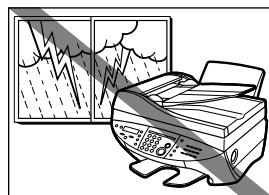
- **本機を分解したり、改造しないでください。本体内部には高温・高圧の部分があり、火災や感電の原因になります。**
- **本体に表示されている注意事項は必ずお守りください。**

■ 設置について

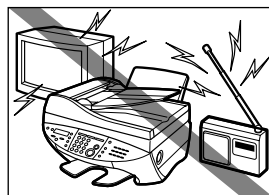
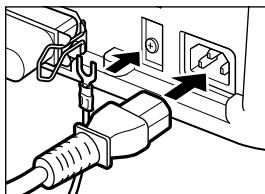
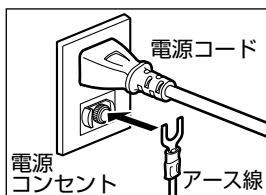
- **アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。**

- **機械には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。必ず壁から10cm以上離してください。通気口をふさがれると機械内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。**
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。**

- 本機を次のような場所には設置しないでください。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 直射日光の当たる場所
- 日光の当たる窓際や、ストーブ／加湿器の前など、高温多湿になるところには設置しないでください。また、暖房などによる急激な温度や湿度の変化は避けてください。
  - 望ましい使用環境 温度：10〜32.5度、相対湿度：20〜85%
- 戸外での使用や保管はしないでください。
- スピーカーなど磁気を帯びた機器や、磁界を生じる機器のそばには設置しないでください。

■ 電源について

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

注意

- 雷が鳴ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください（本機の電源コードを抜くと、メモリに保存された原稿は削除されるので、注意してください）。

- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると火災の原因になることがあります。

- C70をお使いの場合は、エアコン、テレビ、コピー機などの電気機器と電源コンセントを共有することは避けてください。これらの機器は電気的ノイズを発生し、本機に悪影響を及ぼすことがあります。

- 一度電源を切ったら、再度、電源を入れるまでに少なくとも5秒間お待ちください。

アース線はアースに接続してください。
本体背面のアース接続端子を電源コンセントなどのアースに接続してください。

警告

- **万一、漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けることを強くおすすめします。アース線は次のところに取り付けられます。**

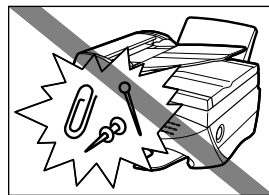
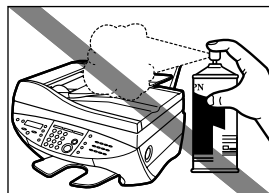
・電源コンセントのアース端子
・接地工事（D種）が行われている接地端子

次のようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。

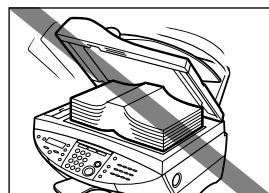
・ガス管
・電話専用アース端子
・避雷針
・水道管や蛇口

- 同梱されている電源ケーブル以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 次のような場合は、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
  - 電源コードやプラグが傷ついたり、すり切れたりしている。
  - 本体や本体内部に水や液体をこぼした。
  - 本機が雨や水で濡れた。
  - 本機の取扱説明書にしたがって操作しても、正常に動作しない。「第6章　困ったときには」の手順にしたがって対処したが、トラブルが解決しない。
    本機を操作するときは、必ず取扱説明書の手順にしたがってください。本機を壊してしまうと、大がかりな修理が必要になる場合があります。
  - 本機を落とした。または、本体や付属品が壊れた。
  - 本機の性能が明らかに変化し、修理が必要と考えられる。

■ 取り扱いについて

- 本体内部にクリップやホチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが本体内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが本体内部に入った場合は、直ちに乾いた手で電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご連絡ください。

- 本機の近くでは、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電子部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

注意

- ADF、原稿台カバー、およびスキャナユニットは、手を挟まないように静かに閉めてください。けがの原因になることがあります。

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、ADFや原稿台カバーを強く押さえないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。

- コピーやスキャンをしている間、光源をじっと見ないでください。目を傷つけるおそれがあります。

- 本機に強いショックや振動を与えないようにしてください。
- 移動や清掃をする際は、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 本機の付属品（記録紙トレイや記録紙排紙トレイなど）を持って、本機を持ち上げないでください。
- 本機の性能が明らかに変化したときは、修理が必要と考えられます。

■ メンテナンス

- 本書に特に説明がない場合は、自分でメンテナンスしないでください。サービスが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

- 本機は清潔に保ってください。ほこりがたまると、正常に動作しなくなる場合があります。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

［関係法律］

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

各部の名称と働き

ここでは、本機の各部の名称と働きについて説明します。

前面

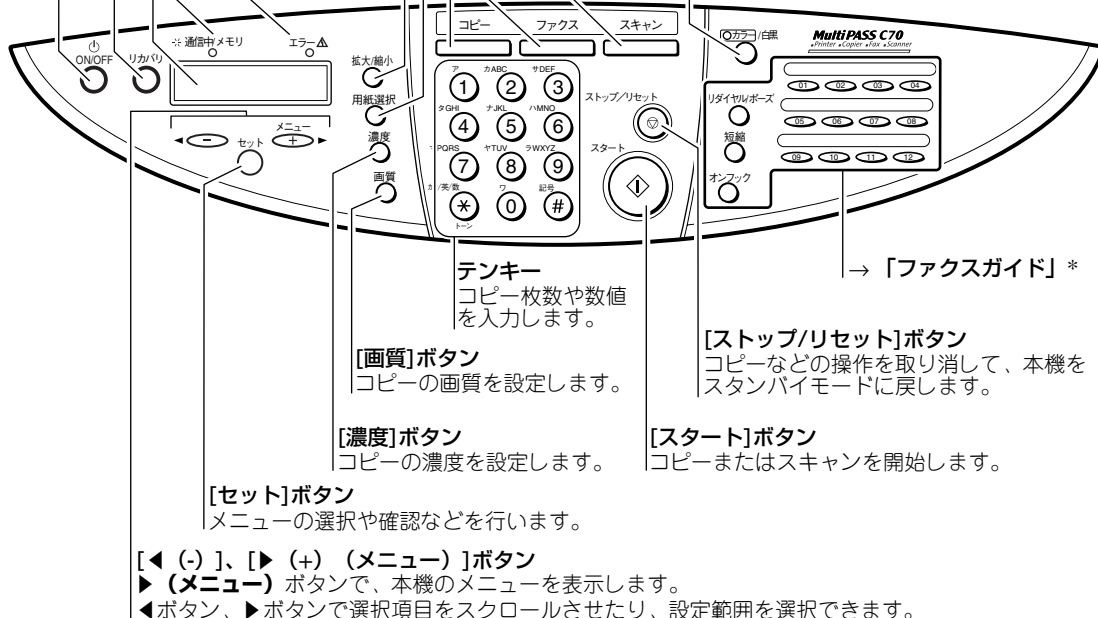
* C70のみ

内部

操作パネル

ここでは、コピーおよびスキャンに使うボタンについて説明します。

＊ C70のみ

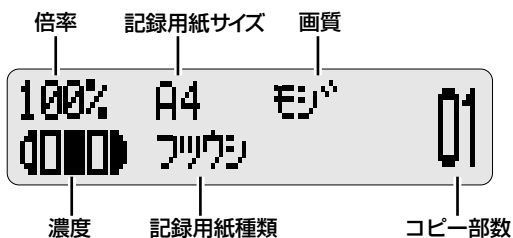
1 ご使用の前に

スタンバイ表示

スタンバイ表示は、どのモードが選ばれているかにより表示が異なります。コピーモードおよびスキャンモードのスタンバイ表示は、次のとおりです。

メモ

- ファクスモードのスタンバイ表示については、「ファクスガイド」を参照してください。

■ コピーモード

メモ

- 本機の電源を入れると、コピーモードのスタンバイ表示がLCDディスプレイに表示されます。

■ スキャンモード

メモ

- パソコンでスキャンを開始すると、本機は自動的にスキャンモードに切り替わります。

第2章

原稿のセット

使用できる原稿

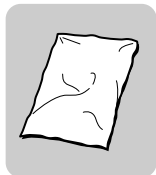
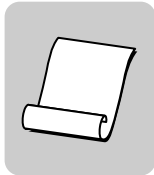
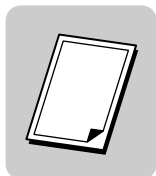
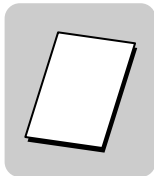
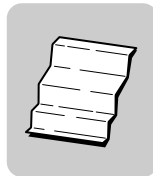
原稿台ガラスまたはADFにセットする原稿が、次の表の条件を満たしているか確認してください。

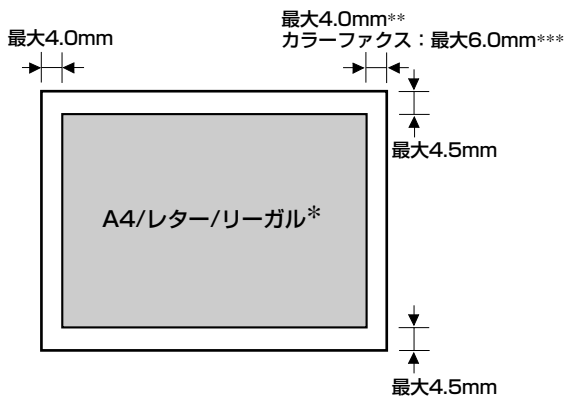
	原稿台ガラス	ADF（C70のみ）
原稿の種類	ー 厚い用紙 ー 表面に凸凹がある原稿 ー 写真 ー 小さな原稿 （名刺、はがきなど） ー 特殊な種類の用紙 ー 本	厚みと質量が同じ、複数ページの原稿
サイズ （幅 × 長さ）	最大 216mm × 297mm*	最大 216mm × 1m 最小 105mm × 148mm
枚数	ー	A4、レター、リーガル：最大30枚** 上記以外のサイズ：1枚
厚さ	最大20mm	0.06〜0.13mm
質量	ー	50〜90g/m^2

*C50の場合は356mm

**75g/m^2の用紙の場合

使用できない原稿

- 原稿台ガラスやADFに原稿をセットするときは、のり、インク、修正液などが完全に乾いているか確認してください。
- ADFに原稿をセットするときは、留め具（ホチキスの針、クリップなど）は、すべて取り除いてください。
- ADFでの紙づまりを防ぐため、次のような原稿は使わないでください。

読みこめる範囲

本機は原稿の［灰色部分］の範囲を読みこむことができます。原稿の文字や絵が、この範囲内に入るようにしてください。

*C70の場合、リーガルサイズの原稿は、ADFにセットしてください。

**C50の場合、リーガルサイズの後端余白は最大8.0mmです。

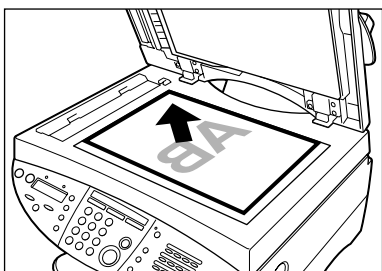
***C70のみ

原稿をセットする

原稿は、原稿台ガラスまたはADFにセットします。どちらにセットするかは、原稿のサイズや種類、およびお使いの機種により異なります（→2-1ページ）。

原稿台ガラスにセットする

1 ADFまたは原稿台カバーを開きます。

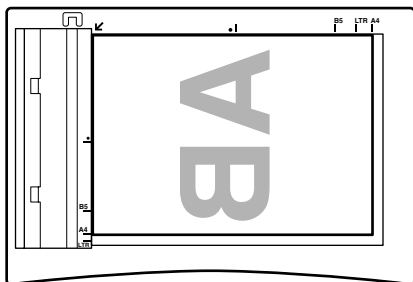
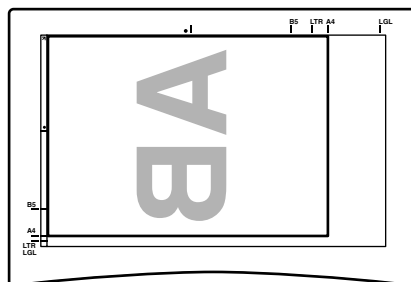
2 原稿台ガラスに、原稿を下向きにセットし、用紙サイズのマークに合わせます。

3 ADFまたは原稿台カバーをゆっくりと閉めます。

原稿を読みこむ準備が完了しました。

原稿のセット位置

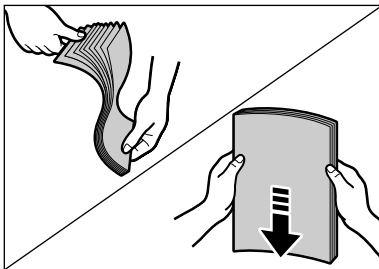
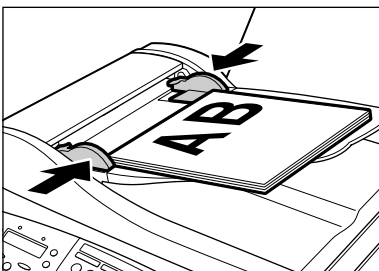
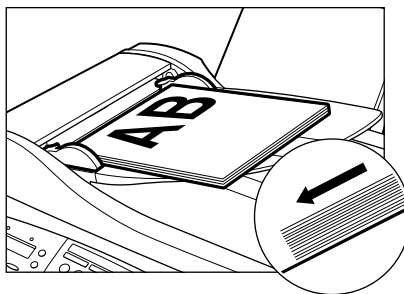
原稿の左上を原稿台ガラスの左上隅の ⬋ マークに合わせます。原稿台ガラスの上側と左側の原稿サイズの指標に合わせて、原稿を適切な位置にセットします。

■ **C70**

■ **C50**

- o マークは、はがきサイズの指標です。

ADFにセットする（C70のみ）

1 原稿台ガラスに原稿がないか確認します。

2 セットする方の端をさばいてから、平らな台の上で、端をトントンとそろえます。

3 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

4 原稿を上向きにして、ピッと音が鳴るまで原稿の上側からゆっくりと差しこみます。

原稿を読みこむ準備が完了しました。

- 複数ページの原稿をセットした場合は、一番上のページから1枚ずつ、読みこまれます。
- すべての原稿が読みこまれるまで、次の原稿をセットしないでください。

第3章

記録用紙のセット

使用できる記録用紙

記録用紙の種類とサイズ

ここでは、本機で使用できる記録用紙について説明します。本機の印刷性能を十分に活かすために、最適な記録用紙をお使いください。

記録用紙	サイズ	質　量	枚　数
普通紙	A4（210×297mm） B5（182×257mm） A5（148×210mm）	64〜105g/m²	約100枚*(厚さ10 mm以下)
	レター（215.9×279.4mm）	64〜105g/m²	約100枚*(厚さ10 mm以下)
	リーガル（215.9×355.6mm）	64〜105g/m²	約100枚*(厚さ10 mm以下)
封　筒	洋形4号（105×235mm） 洋形6号（98×190mm）		10枚
官製はがき/ インクジェット 官製はがき	100×148mm		40枚
フォト光沢紙	A4およびレター		10枚
バナー紙 （長尺紙）	210×297mm 最大長：1782mm		2〜6枚 （つながったままの状態）
高品位専用紙	A4およびレター		約80枚（厚さ10 mm以下）
OHPフィルム	A4およびレター		30枚
フォト光沢 フィルム	A4およびレター		1枚
フォト光沢 カード			20枚
フォト光沢 ハガキ	はがき（100×148mm）		20枚
プロフェッショ ナルフォトペー パー	A4（210×297mm）		1枚

*75g/m²の用紙の場合

記録用紙	サイズ	質　量	枚　数
プロフェッショナルフォトはがき	はがき（100×148mm）		20枚
プロフェッショナルフォトカード	L判（101.6×190.5mm） 2L判（210×183mm） DSC判4面取り（210×310mm） デジカメ六切り判（210×310mm）		L版：20枚 これ以外のサイズ：10枚
Ｔシャツ転写紙			1枚
カラーBJ用マウスパッド	B5（182×257mm）		1枚
BJ用名刺カード	A4		1枚
カラーBJ用フォトシールセット	A6		1枚

- 記録用紙を大量に購入する前に、一度、テスト印刷を行うことをおすすめします。
- キヤノン製のBJプリンタ専用紙をお使いの場合は、紙の種類が推奨する記録用紙と同じかどうか確認してください。
- 封筒、バナー紙、およびTシャツ転写紙をセットする場合は、紙間選択レバーを右側にしてください（→1-6ページ）。

記録用紙について

■ 普通紙

A4、B5、A5、レター、およびリーガルサイズの普通のコピー用紙、コットンボンド紙を使えます。特殊なインクジェット用紙は使えません。記録用紙が、丸まっていないこと、折り曲がった部分がないこと、ホチキスの針が付いていないこと、端がきちんとそろっていることを確認してください。また、包装紙のラベルを見て、記録用紙に裏表があるかどうか確認してください。

■ 封筒

洋形4号と洋形6号の封筒に印刷できます。他のサイズの封筒にも印刷できますが、印刷品質は保証していません。

次のような封筒は故障の原因になるので、使わないでください。

- 窓、穴、ミシン目、切り抜きがあったり、フタが二重になっている封筒
- 型押しやコーティングなどの表面加工が施されている封筒
- シールが貼ってある封筒
- 手紙が入っている封筒

■ 官製はがき/インクジェット官製はがき

通常の官製はがき、およびインクジェット官製はがきに印刷できます。

■ フォト光沢紙 GP-301

光沢があり、厚みのある用紙で、写真に近い仕上がりを表現できます。

■ バナー紙（長尺紙）BP-101

A4サイズの用紙を縦に数枚つなげた用紙です。垂れ幕や横断幕を作成するときに使います。

■ 高品位専用紙 HR-101S

普通紙よりもカラーの発色に優れています。カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や、写真の印刷にも適しています。

■ OHPフィルム CF-102

OHPで使用するための専用の透明フィルムです。プレゼンテーションなどの資料作りに効果的です。他のOHPフィルムでは、インクが定着しないで流れてしまうことがあるので使わないでください。

■ フォト光沢フィルム HG-201

フォト光沢紙よりもつやのあるフィルム材質のシートです。写真データを美しく印刷できます。

■ フォト光沢カード FM-101

フォト光沢紙と同じ材質で、カード全面に画像を印刷できます。ミシン目より大きめに印刷し、不要な部分をカットすることで、白い縁のない全面印刷ができます。

■ フォト光沢ハガキ KH-201N

通信面に光沢があり、写真を色鮮やかに再現します。

■ プロフェッショナルフォトペーパー PR-101

光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙で、カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。高画質な写真の印刷に最適です。

■ プロフェッショナルフォトはがき PH-101

光沢の出るコーティングを施した厚みのあるはがきサイズの用紙で、カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。高画質な写真の印刷に最適です。

■ プロフェッショナルフォトカード PC-101 L/PC -101 2L/PC -101 D/ PC -101 W

プロフェッショナルフォトペーパーと同じ材質の、写真印刷用のカード専用紙です。ミシン目よりも大きめに印刷し、不要な部分カットすることで、白い縁のない全面印刷ができます。

■ Tシャツ転写紙 TR-201

Tシャツ用のアイロンプリントを作成できる用紙です。写真やイラストは、Tシャツ転写紙に左右を反転して印刷されます。アイロンを使ってTシャツに転写すると正しい向きになります。

■ カラーBJ用マウスパッド MK-101

マウスパッド用ピクチャーシートに写真やイラストを左右を反転して印刷します。パッドに貼り付けたときに、正しい向きになります。

■ BJ用名刺カード

A4用紙に名刺10枚分の切り取り用ミシン目が入った専用紙です。

■ カラーBJ用フォトシールセット PSHRS

高品位専用紙をベースにしたシール用紙です。A6サイズの16面×10枚、9面×2枚、4面×2枚、2面×2枚の構成になっています。写真シールを作ることができます。

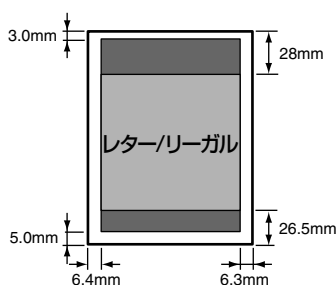
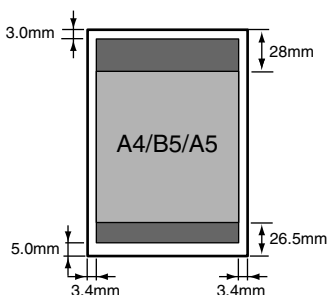
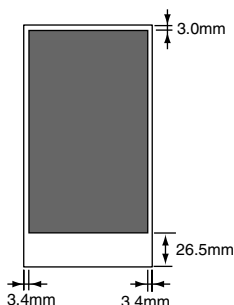
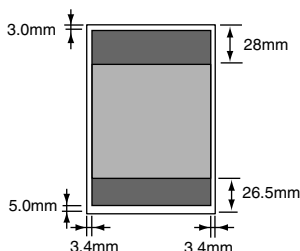
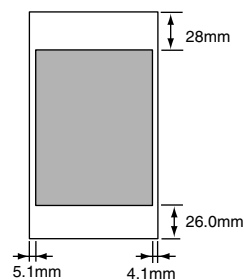
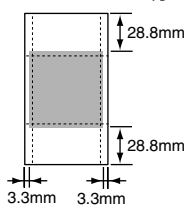
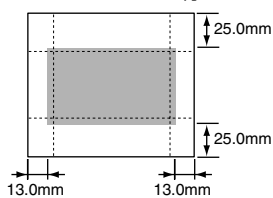
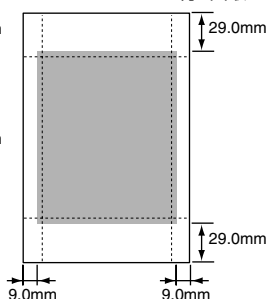
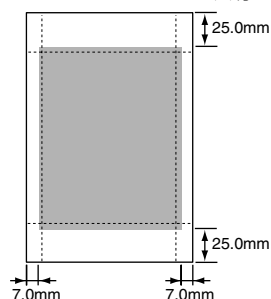
記録用紙の取り扱いと保管

- セットするまで包装紙から出さないでください。余ったら、包装紙に入れたまま、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。
- 温度が18〜24度、相対湿度が40〜60%の場所に平らな状態で保管してください。
- 湿ったり、丸まったり、しわがよったり、破れた記録用紙は絶対に使わないでください。紙づまりや印刷品質の低下の原因になります。
- 感熱ファクス用などのロール紙ではなく、定型サイズに裁断された記録用紙を使ってください。
- 指定されている厚さ以上の記録用紙は使わないでください（→ 3-1ページ）。厚い記録用紙に印刷すると、プリントヘッドの故障の原因になります。
- 記録用紙をセットするときは、記録紙トレイの最大用紙量を示すマーク（ ▶| ）や、記録紙トレイについているタブを超えないようにしてください。記録用紙が多すぎると紙づまりの原因になります。また、記録用紙の束と記録紙トレイ、記録紙ガイドとの間にすきまがないようにセットしてください。
- 記録用紙に裏表がある場合は、印刷面を上向きにして記録紙トレイにセットしてください。
- 記録紙排紙トレイにためておける記録用紙の枚数は、普通紙の場合は50枚（LGLは30枚）、特殊紙の場合は記録紙トレイにセットした枚数（ただし、封筒は１枚ずつ）までです。紙づまりの原因になるので、それぞれの枚数になる前に記録紙排紙トレイから記録用紙を取り出してください。
- 新しい記録用紙と古い記録用紙が混ざらないように、記録紙トレイの記録用紙を使い切ってから、新しい記録用紙を補給してください。
- 長時間にわたって記録用紙を記録紙トレイに置いたままにしないでください。記録用紙が曲がったり、丸まったりすることがあります。これが原因でうまく給紙されなかったり、つまったりすることがあります。
- 記録用紙がまっすぐに給紙されなかったり、2枚いっしょに給紙されたり、紙づまりしたときは、1枚ずつ給紙してください。温度が低いときや高いとき、湿度が高いときに、このようなトラブルが起こることがあります。
- 印刷された記録用紙の濃度が濃いと、インクが乾くのに時間がかかります。2、3秒たつと、インクはにじまなくなり、さらに数分間乾かすと、インクは耐水になります。

- 図表を多く含んだ原稿を印刷すると、記録用紙上のインクにより記録用紙が湿気を帯びることがあります。湿気を帯びたときは、30～60秒、記録紙排紙トレイに放置してインクを乾かしてください。その後、表面に触れないようにして記録用紙を取り出してください。
- 薄い記録用紙に図表を多く含んだ原稿など、大量にインクを使う原稿を印刷すると、記録用紙が少し丸まることがあります。このようなときは、厚めの記録用紙を使ってください。
- 印刷後に記録用紙が丸まったときは、紙づまりの原因になるので、記録紙排紙トレイからすぐに取り出してください。
- 記録用紙の幅より大きいデータを印刷すると、プラテン（本体内部にあるローラ）がインクで汚れることがあります。汚れたときは、インクを拭き取ってください（→ 5-2ページ）。

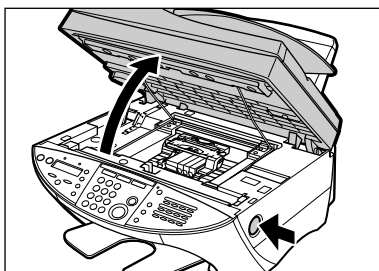
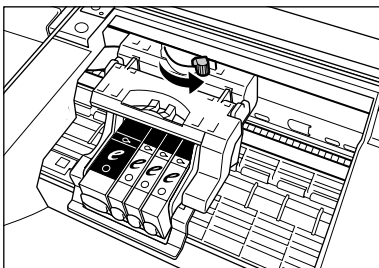
印刷できる範囲

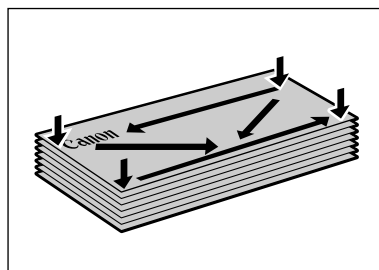
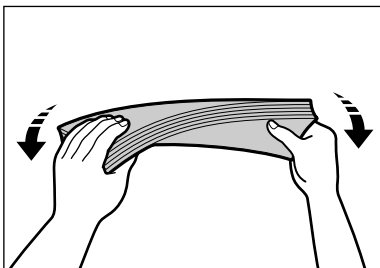
印刷できる範囲には、「印刷推奨領域」と「印刷可能領域」の2つの意味があります。

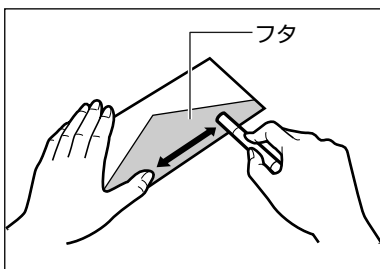
印刷推奨領域（　　の部分）：この範囲に印刷することをおすすめします。
印刷可能領域（　　の部分）：印刷できる範囲です。ただし、印刷の品質や給紙の精度が低下することがあります。

■プロフェッショナルフォトカード

記録用紙をセットする

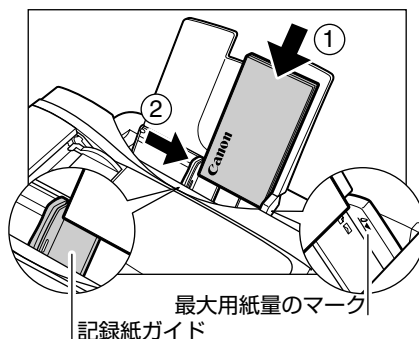
普通紙などの記録用紙を記録紙トレイにセットする方法については、「かんたんスタートガイド」を参照してください。

封筒に印刷する

1 **オープン**ボタンを押して、スキャナユニットを開きます。

2 紙間選択レバーを右側にして、スキャナユニットを閉めます。

3 安定したきれいな台の上に封筒の束を置き、四隅を押して端をそろえます。

- 封筒の周りや、フタの部分を押してまっすぐに伸ばし、中の空気を抜いてください。また、フタの部分を十分に押して、平らにしてください。

4 封筒がそっているときは、対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

5 封筒のフタが丸まっているときは、ペンの軸などの丸いものでしごいてまっすぐに伸ばします。

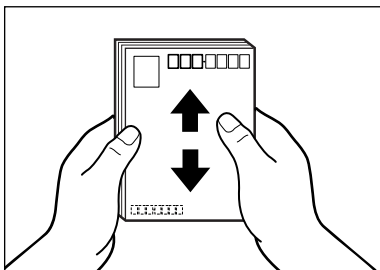
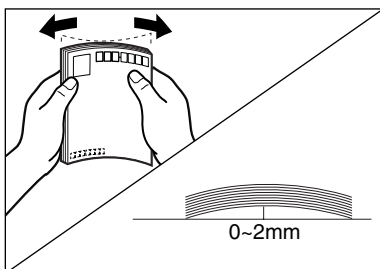
- そりやふくらみが5mm以内になるようにしてください。

6 封筒の束を記録紙トレイに差しこみ①、封筒の右端を記録紙トレイの右端に合わせます。記録紙ガイドをつまんで動かし、封筒の左端にぴったりと合わせます②。

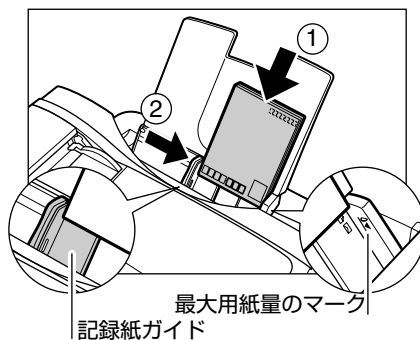
- 封筒は、印刷面（フタが見えない面）を上にして差しこんでください。
- 封筒の左側から記録紙トレイに差しこんでください。
- 記録紙トレイには、最大10枚の封筒をセットできます。
- 封筒の束が、記録紙トレイの最大用紙量を示すマーク（◀）を超えないように注意してください。

7 記録紙トレイにトレイカバーをのせます。

封筒に印刷する準備が完了しました。

はがきに印刷する

1 セットするはがきの四隅を揃えます。

メモ

- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げてカールを直してください。はがきの表面が波状にならないように注意してください。

2 はがきの束を記録紙トレイに差しこみ①、はがきの右端を記録紙トレイの右端に合わせます。記録紙ガイドをつまんで動かし、はがきの左端にぴったりと合わせます②。

- はがきは、印刷面を上にして差しこんでください。
- 記録紙トレイには、最大40枚の官製はがきをセットできます（→ 3-1 ページ）。
- はがきの束が、記録紙トレイの最大用紙量を示すマーク（◀）を超えないように注意してください。

3 記録紙トレイにトレイカバーをのせます。

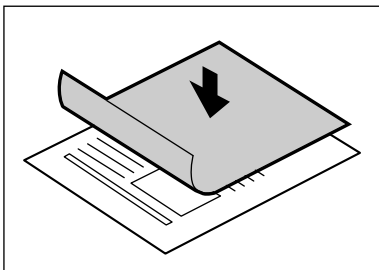
はがきに印刷する準備が完了しました。

専用紙に印刷する

専用紙の取り扱いと保管

- 専用紙のパッケージについている注意書きや説明書をよくお読みになり、その指示にしたがってください。

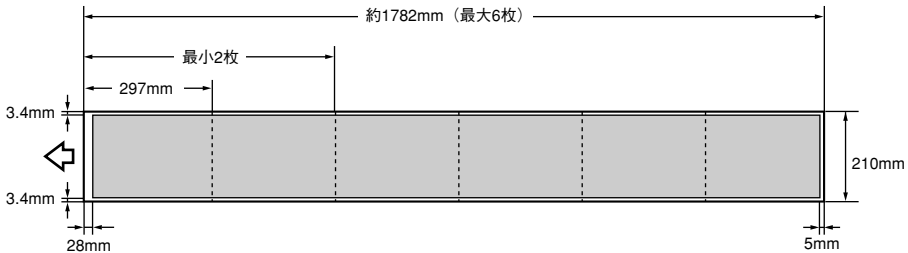
次の取り扱い方法を守ってください。

- OHPフィルムやフォト光沢紙を給紙するときは、表面に触れないように注意し、一枚印刷するたびに記録紙排紙トレイから取り出してください。OHPフィルムやフォト光沢紙が記録紙排紙トレイにたまらないようにしてください。
- 印刷されたフィルムや記録用紙は、十分に乾かしてから保管してください。
  インクが乾くまでの時間：
  - フォト光沢フィルム HG-201、フォト光沢紙 GP-301、フォト光沢カード FM-101：2分
  - OHPフィルム CF-102：15分
  -「プロフェッショナルフォト」シリーズ：30分
- 印刷したフィルムは、インクが完全に乾いてから、重ねてください。印刷した面に普通紙（コーティングされていない用紙）を置いてから、重ねることをおすすめします。印刷したフィルムをクリアファイルやプラスチック製のホルダに入れるときも同様にすることをおすすめします。

- OHPフィルムを記録紙トレイにセットするときは、いちばん後ろに普通紙を1枚付けてください。
- フィルムは、記録紙トレイに長時間置いたままにしないでください。ゴミやほこりが付いて、印刷品質が低下することがあります。
- フィルムを扱うときは、指紋がつかないように布製の薄い手袋をはめてください。
- 印刷したフィルムは、色あせするので、長時間日光にあてないでください。
- 記録用紙はすべて平らな状態で保管してください。セットするまで包装紙から出さないでください。
- 使わないフィルムは、温度15～30度、相対湿度10～70%で保管してください。

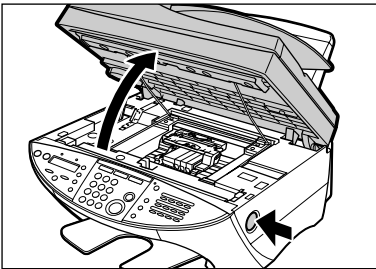
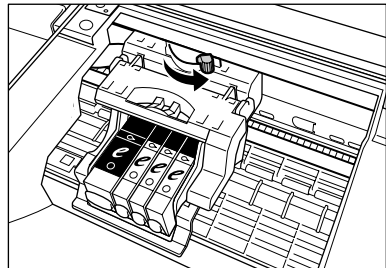
バナー紙（長尺紙）に印刷する

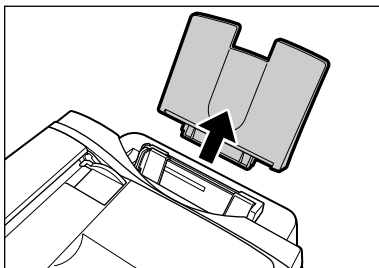
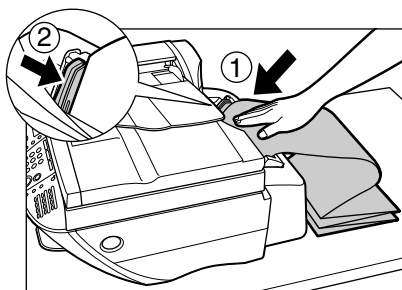
バナー紙（長尺紙）は、等間隔にミシン目が入った連続用紙で、図のように最小2枚〜最大6枚までつながった状態で印刷できます。ミシン目にそって必要な長さに切って使ってください。最適な結果を得るために、キヤノン製のバナー紙のご使用をおすすめします。

- 予定の枚数に印刷が収まらなかった場合を考えて、最後に予備の用紙を1枚つけてセットしてください。

の部分が、バナー紙の印刷推奨領域です。

- バナー紙の端からインクがはみ出ないように、上の図の範囲内に印刷してください。
- バナー紙への印刷は、大量のインクを消費する場合があります。インクの残量に不安があるときは、新しいインクタンクを使ってください。
- バナー紙は、色の薄い印刷の方がきれいに仕上がります。

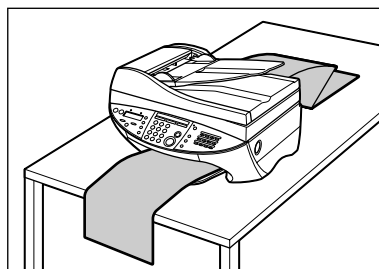
1 本機を台の端近くに置いて、印刷されたバナー紙が台の端から下に落ちるようにします。

2 **オープンボタン**を押して、スキャナユニットを開きます。

3 紙間選択レバーを右側にして、スキャナユニットを閉めます。

4 バナー紙をミシン目にそって、必要な長さに切り離します。

5 トレイカバーと記録紙トレイを取りはずします。

6 バナー紙を本機の後ろの平らなところに置きます。1枚目を記録紙トレイに差しこみ上から静かに押さえます①。記録紙ガイドをつまんで動かし、バナー紙の左端にぴったりと合わせます②。

- 給紙が始まるまで、押さえたままお待ちください。
- バナー紙が給紙方向に対してまっすぐに置かれているか確認してください。

バナー紙に印刷する準備が完了しました。

7 パソコンで、バナー紙に印刷するように設定します。

- 印刷されたバナー紙が、台の端から垂れ下がるようにしてください。

第4章

コピーする

コピーできる原稿

コピーできる原稿の種類、条件、セット方法については、「第2章　原稿のセット」を参照してください。

原稿をコピーする

本機は、高品質な白黒コピーやカラーコピーができます。

1 **コピー**ボタンを押して、コピーモードにします。

例：
```
100%   A4     モジ
◘□■□◗  フツウシ          01
```

2 原稿台ガラスまたはADFに、原稿をセットします（→2-3、2-4ページ）。

3 白黒コピーをする場合は、**カラー/白黒**ランプが消えていることを確認します。
カラーコピーをする場合は、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます。

4 必要に応じて、コピー機能を設定します。設定できるのは次の機能です。

- コピー部数（→4-2ページ）
- 記録用紙のサイズと種類（→4-2ページ）
- 拡大/縮小（→4-3ページ）
- 画質（→4-4ページ）
- 濃度（→4-5ページ）

メモ
- コピー中は設定を変更できません。

5 **スタート**ボタンを押して、コピーを開始します。

```
コピ゜ーチュウ                01
```

コピーが終了すると終了音が鳴ります。

- コピーを中止するには、**ストップ/リセット**ボタンを押します。C70をお使いの場合、読みとり途中の原稿がADFに残ったままになることがあります。その場合は、スタンバイ表示になってから**リカバリ**ボタンを押してください。ADFに残った原稿が、自動的に排紙されます。
- コピー中に記録用紙がなくなると、LCDディスプレイに「キロクシカ゛　アリマセン　リカハ゛リキーオシテクタ゛サイ」と表示されます。記録紙トレイに記録用紙をセットして、**リカバリ**ボタンを押します（→6-4ページ）。

メモ
- 図表の多い複数ページの原稿をコピーするときは、たくさんのメモリを使用します。数回に分けてコピーするか、1回に1ページずつ必要な部数だけコピーしてください。
- C70で、LCDディスプレイに「メモリカ゛イッハ゜イテ゛ス」と表示された場合は、複数ページの原稿のコピーはできません。メモリに保存されている原稿を印刷または削除してから（→「ファクスガイド」）、コピーしてください。
- コピー中は、他のコピーをすることはできません。
- コピーが終了しても、設定はそのまま残ります。ただし、**ストップ/リセット**ボタンを押すか、2分間何も操作をしないと、記録用紙のサイズと種類以外の設定は、工場出荷時の設定に戻ります。

コピー部数を設定する

複数部のコピーができます。

1 テンキーで、コピー部数を入力します。

例：
```
100%   A4     モジ゛
◘□■□◗  フツウシ        05
```

• 99部までコピーできます。

• コピー中は、LCDディスプレイに残りのコピー部数が表示されます。

例：
```
コピ゜ーチュウ          05
```

記録用紙のサイズと種類を設定する

記録用紙のサイズと種類を設定することで、さまざまな記録用紙にコピーできます。

1 **用紙選択**ボタンを押します。

例：
```
サイズ゛  :   <  A4    >
カミシュ  :     フツウシ
```

• 紙種のみ設定する場合には、**用紙選択**ボタンを2回押して、4の操作へ進んでください。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、記録用紙のサイズを選びます。

例：
```
サイズ゛  :   <  LTR   >
カミシュ  :     フツウシ
```

• 記録用紙のサイズは、次の中から選んでください。
  - A4
  - LTR
  - LGL
  - B5
  - A5
  - ハガキ

3 **セット**ボタンを押します。

例：
```
サイズ゛  :        LTR
カミシュ  :   <  フツウシ   >
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、記録用紙の種類を選びます。

例：
```
サイズ゛  :        LTR
カミシュ  :   <  コウタクシ  >
```

• 記録用紙の種類は、次の中から選んでください。
  - フツウシ
    普通紙にカラーコピーするのに適しています。
  - コウタクシ
    フォト光沢紙にカラー写真をコピーするのに適しています。
  - コウヒンイシ
    高品位専用紙にカラーコピーするのに適しています。
  - OHP
    OHPフィルムにコピーするのに適しています。
  - フォト
    プロフェッショナルフォトペーパーにカラー写真をコピーするのに適しています。

•「フツウシ」を設定している場合だけ、画質の設定で「シロクロ ド゛ラフト」、「カラー ハヤイ」を選べます（→4-4ページ）。

5 **セット**ボタンを押します。

例：
```
100%   LTR    モジ゛
◘□■□◗  コウタクシ       01
```

拡大/縮小コピーする

あらかじめ設定されたコピー倍率を選ぶか、手動でコピー倍率を設定することで、原稿を拡大または縮小してコピーできます。

定型倍率を使って、拡大または縮小する

1 **拡大/縮小**ボタンを押します。

例：
```
テイケイ ヘンバ゛イ
 －          100%        ＋
```

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、コピー倍率を選びます。

例：
```
テイケイ ヘンバ゛イ
 －      86% A4→B5       ＋
```

- コピー倍率は、次の中から選んでください。
  - 25% サイショウ
  - 50% A4→ハガ゛キ
  - 70% A4→A5
  - 86% A4→B5
  - 100%
  - 115% B5→A4
  - 141% A5→A4
  - 200% ハガ゛キ→A4
  - 400% サイダ゛イ

3 **セット**ボタンを押します。

例：
```
 86%   A4      モジ゛        01
◻□■□◗  フツウシ
```

コピー倍率を設定して、拡大または縮小する

1 **拡大/縮小**ボタンを2回押します。

例：
```
テイケイ ヘンバ゛イ
 －          100%        ＋
```

例：
```
ズ゛ーム 25－400%
 －          100%        ＋
```

2 テンキーで、コピー倍率を入力します。

例：
```
ズ゛ーム 25－400%
 －           80%        ＋
```

- コピー倍率は、25～400%まで1%単位で入力できます。
- ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、コピー倍率を選ぶこともできます。コピー倍率を小さくするときは、◀ボタンを押します。コピー倍率を大きくするときは、▶ボタンを押します。

3 **セット**ボタンを押します。

例：
```
 80%   A4      モジ゛        01
◻□■□◗  フツウシ
```

画質を変える

原稿に合わせて、画質を選びます。

1 **画質**ボタンを押します。

例：
```
ガ゛シツ
                シロクロ　モジ゛
```
（白黒モード）

例：
```
ガ゛シツ
                カラー　フツウ
```
（カラーモード）

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、画質を選びます。

- 白黒モードの場合は、次の中から選んでください。
  - シロクロ　モジ゛
    通常の文字原稿に適しています。
  - シロクロ　シャシン
    写真原稿などに適しています。写真などの濃淡が、64階調のグレースケールで読みこまれます。
  - シロクロ　ド゛ラフト*
    低解像度での高速コピーに適しています。
- カラーモードの場合は、次の中から選んでください。
  - カラー　フツウ
    標準のカラーコピーに適しています。
  - カラー　ファイン
    高解像度でのカラーコピーに適しています。
  - カラー　ハヤイ*
    低解像度での高速カラーコピーに適しています。

* これらの設定は、記録用紙の種類で「フツウシ」を設定しているときだけ選べます（→4-2ページ）。

3 **セット**ボタンを押します。

例：（白黒モード）

例：（カラーモード）

- 「カラー　ハヤイ」を設定して、満足のいく結果が得られなかった場合は、「カラー　フツウ」または「カラー　ファイン」に設定して、コピーし直してください。

コピーの濃さを調整する

原稿に合わせて、コピーの濃度を9段階から選びます。

1 **濃度**ボタンを押します。

例：
```
ノウド
 -ウスク◖□□□□□■□□□□◗  コク+
```

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、コピーの濃度を選びます。コピーの濃度を薄くするときは、◀ボタンを押します。コピーの濃度を濃くするときは、▶ボタンを押します。

例：
```
ノウド
 -ウスク◖□□□□□□■□□□◗  コク+
```

3 **セット**ボタンを押します。

例：
```
100%   A4    モジ    01
◖□□■◗ フツウシ
```

- 薄く設定されているとインジケータは左側に、濃く設定されているとインジケータは右側に移ります。

便利な機能を使ったコピー

本機には、次の6種類の応用コピー機能があります。応用コピー機能は、メニューから設定できます。

- 絵はがきプリント（ｴﾊｶﾞｷﾌﾟﾘﾝﾄ）：はがきに写真を印刷します。
- 名刺プリント（ﾒｲｼﾌﾟﾘﾝﾄ）：名刺用の専用紙に印刷します。
- シールプリント（ｼｰﾙﾌﾟﾘﾝﾄ）：シール専用紙に写真を印刷します。
- イメージリピート（ｲﾒｰｼﾞ ﾘﾋﾟｰﾄ）：画像を繰り返して印刷します。
- ミラープリント（ﾐﾗｰﾌﾟﾘﾝﾄ）：画像を鏡に映したように反転して印刷します。
- 全面画像（ｾﾞﾝﾒﾝ ｶﾞｿﾞｳ）：記録用紙サイズに収まるように画像を縮小して印刷します。

応用コピー機能は、コピーモードでだけ有効です。

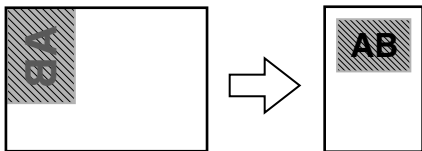
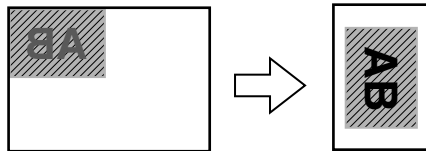
- コピー中は設定を変更できません。
- コピーが終了しても、設定はそのまま残ります。ただし、**ストップ/リセット**ボタンを押すか、2分間何も操作をしないと、紙サイズと紙種を除いて工場出荷時の設定に戻ります。
- コピー終了後は、はがきや名刺用の専用紙を記録紙トレイから取り出してください。

オリジナルはがきを作る

「絵はがきプリント（ｴﾊｶﾞｷﾌﾟﾘﾝﾄ）」を使うと、写真（L版）をはがきに印刷することができます。はがきの印刷範囲は、半分または全体の2通りから選択できます。

写真のセット位置

写真は、次のようにセットしてください。

■ はがき半分に印刷する場合

■ はがき全体に印刷する場合

1 **コピー**ボタンを押して、コピーモードにします。

2 原稿台ガラスに、写真をセットします（→2-3ページ）。

3 記録紙トレイに、はがきをセットします（→3-8ページ）。

4 白黒コピーをする場合は、**カラー/白黒**ランプが消えていることを確認します。
カラーコピーをする場合は、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます。

5 **メニュー**ボタンを押します。

```
メニュー
 1.オウヨウ コピ゜ー
```

6 **セット**ボタンを2回押します。

```
オウヨウ コピ゜ー
 1.エハカ゛キフ゜リント
```

```
エハカ゛キフ゜リント
 1.ハカ゛キハンフ゛ンニ フ゜リント
```

7 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、はがきの印刷範囲を選びます。

例：
```
エハガ゛キプ゛リント
  2.ハガ゛キゼ゛ンタイニ プ゛リント
```

- はがきの印刷範囲は、次の中から選んでください。
  - 1.ハガ゛キハンブ゛ンニ プ゛リント
  - 2.ハガ゛キゼ゛ンタイニ プ゛リント

8 **セット**ボタンを押します。

```
エハガ゛キ(ゼ゛ンタイ)          01
◐□■□◑  コウタクシ
```

- 必要に応じて、記録用紙の種類（→4-2ページ）と濃度（→4-5ページ）を変更できます。

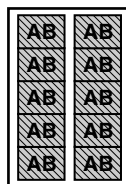
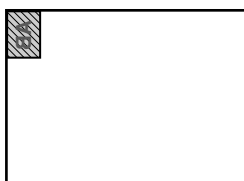
9 **スタート**ボタンを押して、コピーを開始します。

コピーが終了すると終了音が鳴ります。

名刺を作る

「名刺プリント（メイシプ゛リント）」を使うと、名刺用の専用紙に印刷できます。

名刺のセット位置

名刺は、次のようにセットしてください。

1 **コピー**ボタンを押して、コピーモードにします。

2 原稿台ガラスに、名刺をセットします（→2-3ページ）。

3 記録紙トレイに、名刺用の専用紙をセットします（→「かんたんスタートガイド」）。

4 白黒コピーをする場合は、**カラー/白黒**ランプが消えていることを確認します。
カラーコピーをする場合は、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます。

5 **メニュー**ボタンを押します。

```
メニュー
  1.オウヨウ コピ゛ー
```

6 **セット**ボタンを押します。

```
オウヨウ コピ゛ー
  1.エハガ゛キプ゛リント
```

7 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「メイシプ゛リント」を選びます。

```
オウヨウ コピ゛ー
  2.メイシプ゛リント
```

8 **セット**ボタンを押します。

```
メイシ                         01
◐□■□◑
```

- 必要に応じて、濃度を変更できます（→4-5ページ）。

9 **スタート**ボタンを押して、コピーを開始します。

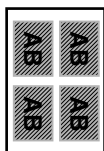
コピーが終了すると終了音が鳴ります。

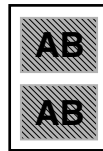
シールを作る

「シールプリント（シールフ゜リント）」を使うと、写真（L版）をシール専用紙に印刷できます。写真の読み取り範囲は、写真全面または中央の2通りから選択できます。

写真のセット位置

写真は、次のようにセットしてください。

■ シールタイプ：4×4、3×3、2×2の場合

*シールタイプ：2×2

■ シールタイプ：2×1の場合

1 **コピー**ボタンを押して、コピーモードにします。

2 原稿台ガラスに、写真をセットします（→2-3ページ）。

3 記録紙トレイに、シール専用紙をセットします（→「かんたんスタートガイド」）。

4 白黒コピーをする場合は、**カラー/白黒**ランプが消えていることを確認します。
カラーコピーをする場合は、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます。

5 **メニュー**ボタンを押します。

メニュー
1．オウヨウ　コヒ゜ー

6 **セット**ボタンを押します。

オウヨウ　コヒ゜ー
1．エハガ゛キフ゜リント

7 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「シールフ゜リント」を選びます。

オウヨウ　コヒ゜ー
3．シールフ゜リント

8 **セット**ボタンを押します。

例：
ヨミトリハンイ：<シャシン　ゼ゛ンメン>
シールタイフ゜　：　　4　×　4

9 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、読み取り範囲を選びます。

例：
ヨミトリハンイ：<シャシン　チュウオウ>
シールタイフ゜　：　　4　×　4

- 読み取り範囲は、次の中から選んでください。
  - シャシン　ゼ゛ンメン
  - シャシン　チュウオウ

10 **セット**ボタンを押します。

例：
ヨミトリハンイ：　シャシン　チュウオウ
シールタイフ゜　：<　　4　×　4　　>

11 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、シールタイプを選びます。

例：
ヨミトリハンイ：　シャシン　チュウオウ
シールタイフ゜　：<　　3　×　3　　>

- シールタイプは、次の中から選んでください。
  - 2×1
  - 2×2
  - 3×3
  - 4×4

12 **セット**ボタンを押します。

例：

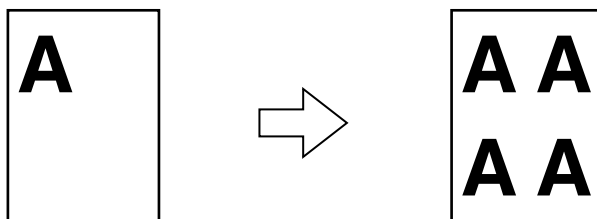
シール　　3×3
◐□■□◗　　01

- 必要に応じて、濃度を変更できます（→4-5ページ）。

13 **スタート**ボタンを押して、コピーを開始します。

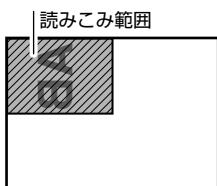
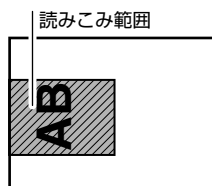
コピーが終了すると終了音が鳴ります。

■原稿の画像を1枚の用紙に繰り返してコピーする（イメージリピート）

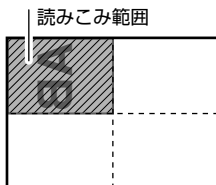
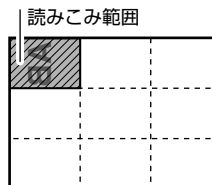
「イメージリピート（イメージ リピート）」を使うと、記録用紙に元の画像を繰り返し印刷できます。画像を繰り返す回数を選択できます。

読みこめる範囲

原稿を原稿台にセットするか、ADFにセットするかで原稿の読みこみ範囲が異なります。

- 下の図は、原稿と同一サイズの記録用紙に2×2でコピーを繰り返す場合の、原稿の読みこみ範囲を示したものです。

■原稿台ガラス（下向き）

■ ADF（上向き）

記録用紙のサイズと元の画像を繰り返す回数によって、原稿の読みこみ範囲が異なります。

- 下の図は、原稿台ガラスにセットした原稿と同一サイズの記録用紙にコピーする場合の、原稿の読みこみ範囲を示したものです。

■2×2

■3×3

- 原稿を読みこめる範囲は、拡大/縮小率によっても異なります。

1 **コピー**ボタンを押して、コピーモードにします。

2 原稿台ガラスまたはADFに、原稿をセットします（→2-3、2-4ページ）。

3 白黒コピーをする場合は、**カラー/白黒**ランプが消えていることを確認します。
カラーコピーをする場合は、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます。

4 必要に応じて、コピー機能を設定します。
設定できるのは次の機能です。

- コピー部数（→4-2ページ）
- 記録用紙のサイズと種類（→4-2ページ）
- 拡大/縮小（→4-3ページ）
- 画質（→4-4ページ）
- 濃度（→4-5ページ）

メモ
- コピー中は設定を変更できません。

5 **メニュー**ボタンを押します。

```
メニュー
  1. オウヨウ コピ゜ー
```

6 **セット**ボタンを押します。

```
オウヨウ コピ゜ー
  1. エハガ゛キプ゜リント
```

7 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「イメージ゛ リピ゜ート」を選びます。

```
オウヨウ コピ゜ー
  4. イメージ゛ リピ゜ート
```

8 **セット**ボタンを押します。

9 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、縦方向に繰り返す回数を選びます。

例：
```
タテ      < 3 >
ヨコ        2
```

- 「1」、「2」、「3」、「4」の中から選んでください。

10 **セット**ボタンを押します。

例：
```
タテ        3
ヨコ      < 2 >
```

11 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、横方向に繰り返す回数を選びます。

例：
```
タテ        3
ヨコ      < 3 >
```

- 「1」、「2」、「3」、「4」の中から選んでください。

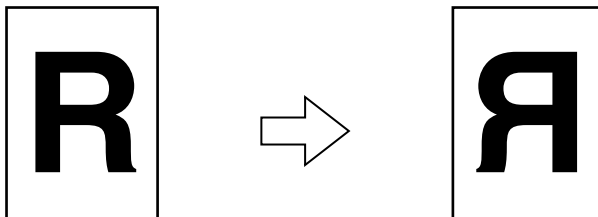
12 **セット**ボタンを押します。

例：
```
100%   A4    モジ゛
リピ゜ート  3×3    01
```

13 **スタート**ボタンを押して、コピーを開始します。

コピーが終了すると終了音が鳴ります。

鏡に映したときのイメージでコピーする（ミラープリント）

「ミラープリント（ミラーフ゜リント）」を使うと、原稿の画像を鏡に映したように反転して印刷できます。

1 **コピー**ボタンを押して、コピーモードにします。

2 原稿台ガラスまたはADFに、原稿をセットします（→2-3、2-4ページ）。

3 白黒コピーをする場合は、**カラー/白黒**ランプが消えていることを確認します。
カラーコピーをする場合は、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます。

4 必要に応じて、コピー機能を設定します。設定できるのは次の機能です。

- コピー部数（→4-2ページ）
- 記録用紙のサイズと種類（→4-2ページ）
- 拡大/縮小（→4-3ページ）
- 画質（→4-4ページ）
- 濃度（→4-5ページ）

- コピー中は設定を変更できません。

5 **メニュー**ボタンを押します。

```
メニュー
  1. オウヨウ　コピ゜ー
```

6 **セット**ボタンを押します。

```
オウヨウ　コピ゜ー
  1. エハガ゛キフ゜リント
```

7 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ミラーフ゜リント」を選びます。

```
オウヨウ　コピ゜ー
  5. ミラーフ゜リント
```

8 **セット**ボタンを押します。

例：
```
100%　 A4　  モジ゛　  01
ミラー
```

9 **スタート**ボタンを押して、コピーを開始します。

コピーが終了すると終了音が鳴ります。

4 コピーする

原稿の周囲が欠けないように少しだけ縮小してコピーする（全面画像）

紙面全体に画像がある原稿を同じサイズの記録用紙に印刷するときは、「全面画像（ｾﾞﾝﾒﾝ ｶﾞｿﾞｳ）」を設定します。「全面画像（ｾﾞﾝﾒﾝ ｶﾞｿﾞｳ）」を使うと、記録用紙サイズに収まるように原稿の画像を縮小して印刷できます。

1 **コピー**ボタンを押して、コピーモードにします。

2 原稿台ガラスまたはADFに、原稿をセットします（→2-3、2-4ページ）。

3 白黒コピーをする場合は、**カラー/白黒**ランプが消えていることを確認します。
カラーコピーをする場合は、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます。

4 必要に応じて、コピー機能を設定します。設定できるのは次の機能です。

- コピー部数（→4-2ページ）
- 記録用紙のサイズと種類（→4-2ページ）
- 画質（→4-4ページ）
- 濃度（→4-5ページ）

メモ
- コピー中は設定を変更できません。

5 **メニュー**ボタンを押します。

```
ﾒﾆｭｰ
  1.ｵｳﾖｳ ｺﾋﾟｰ
```

6 **セット**ボタンを押します。

```
ｵｳﾖｳ ｺﾋﾟｰ
  1.ｴﾊｶﾞｷﾌﾟﾘﾝﾄ
```

7 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ｾﾞﾝﾒﾝ ｶﾞｿﾞｳ」を選びます。

```
ｵｳﾖｳ ｺﾋﾟｰ
  6.ｾﾞﾝﾒﾝ ｶﾞｿﾞｳ
```

8 **セット**ボタンを押します。

例：
```
 90%   A4     ﾓｼﾞ      01
ｾﾞﾝﾒﾝ ｶﾞｿﾞｳ
```

メモ
- 全面画像と拡大/縮小設定を同時に設定する場合、設定できるコピー倍率は100%以下です。

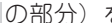
9 **スタート**ボタンを押して、コピーを開始します。

コピーが終了すると終了音が鳴ります。

メモ
- C50でリーガルサイズをコピーする場合、後端が欠けることがあります。

第5章

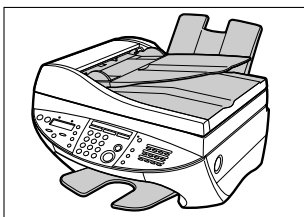
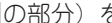
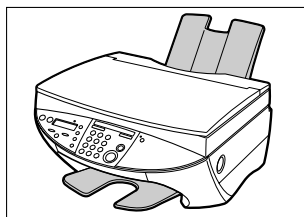
メンテナンス

清掃する

本機は定期的なメンテナンスが必要です。ここでは、本機の清掃について説明します。本機を清掃するときは、電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。清掃が終わったら、電源コードをもう一度差しこみ、電源を入れてください。

注意

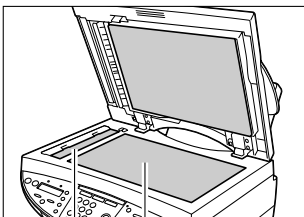
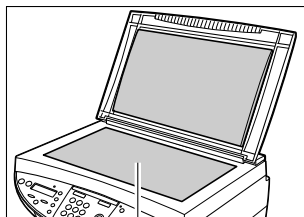
- **清掃前に、必ず電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いてください。**
- **C70をお使いの場合は、電源コードを電源コンセントから抜く前にメモリに保存されている原稿をすべて印刷してください（→「ファクスガイド」）。電源コードを抜くと、メモリ内の原稿は消去されてしまいます。**
- **清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルなどは使わないでください。部品に紙の粉が付いたり、静電気の原因になることがあります。
部品を傷つけないように、柔らかい布を使用してください。**
- **本体内部を清掃するときは、シンナー、ベンジン、アセトンおよび化学性洗剤などの揮発性の化学薬品を絶対に使わないでください。本体が変色したり、故障の原因になります。**

本体外側の清掃

布を、水または水で薄めた食器用洗剤に浸し、固くしぼってから本体の外側（　　　の部分）を拭きます。布はきれいで柔らかく、糸くずの出ないものを使用してください。

（C70）

（C50）

スキャンエリアの清掃

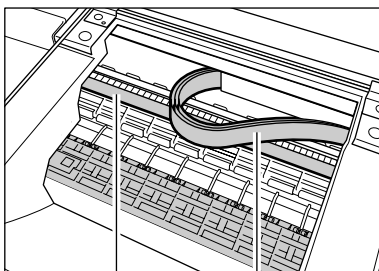
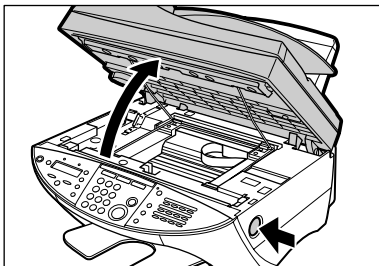
布を水で湿らし、固くしぼってからスキャンエリア（　　　の部分）を拭きます。
その後、乾いた布で拭きます。
布はきれいで柔らかく、糸くずの出ないものを使用してください。

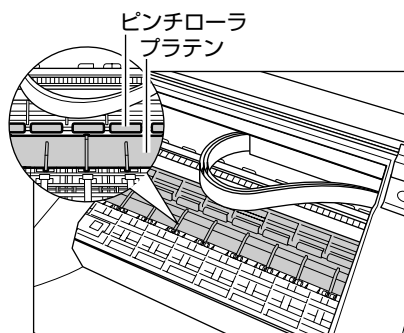
（C70）

（C50）

本体内部の清掃

インクの汚れや紙の粉などが内部にたまると、印刷品質の低下の原因になります。本体内部のプリンタ部分を定期的に清掃してください。

1. 電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜きます。

2. オープンボタンを押して、スキャナユニットを開きます。

- **図に示された部分（　　　の部分）や他の金属部分に触れないでください。動作不良や印刷品質の低下の原因になります。**

3. きれいで柔らかく、糸くずの出ない布で、本体内部（　　　の部分）、特にプラテンとピンチローラのまわりから、インクの汚れや紙の粉を拭き取ります。
   - プリントヘッド（BJカートリッジ）およびプリントヘッドホルダに、触れないように注意してください。

4. 拭き終わったら、スキャナユニットを閉めます。
   - スキャナユニットがロックされるまでしっかりと閉めてください。きちんと閉まっていないと、本機は正常に動作しません。

5. 電源コードを電源コンセントに差しこみ、電源を入れます。

■ ローラの清掃

封筒がうまく送られないときは、ローラを清掃してください。
はじめに記録用紙をセットしないで3回ローラクリーニングを行ってください。それから、A4またはレターサイズの記録用紙を3枚セットして、さらに3回ローラクリーニングを行ってください。

1 **メニュー**ボタンを押します。

例：
```
メニュー
  1．オウヨウ　コピ゜ー
```

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「プ゜リンタ　シヨウ　セッテイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  7．プ゜リンタ　シヨウ　セッテイ
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
プ゜リンタ　シヨウ　セッテイ
  1．クリーニング゛
```

```
クリーニング゛
  1．プ゜リンタ　ノズ゛ル　チェック
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「キロク　ローラ　クリーニング゛」を選びます。

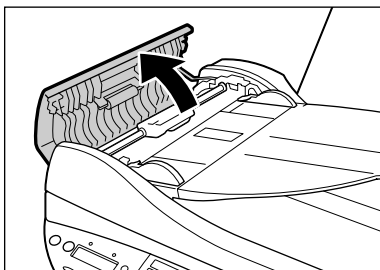
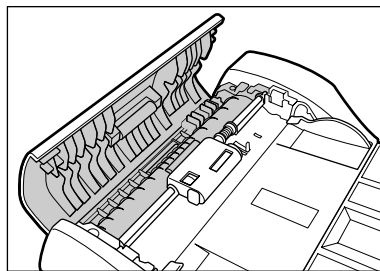
```
クリーニング゛
  4．キロク　ローラ　クリーニング゛
```

5 **セット**ボタンを押します。

ローラの清掃が始まります。

■ ADF内部の清掃（C70のみ）

1 電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜きます。

2 フィーダカバーを開きます。

3 きれいで柔らかく、糸くずの出ない布で、　　　の部分の紙の粉を拭き取ります。

- ADF内の部品が汚れていると、送信やコピーする原稿も汚れます。

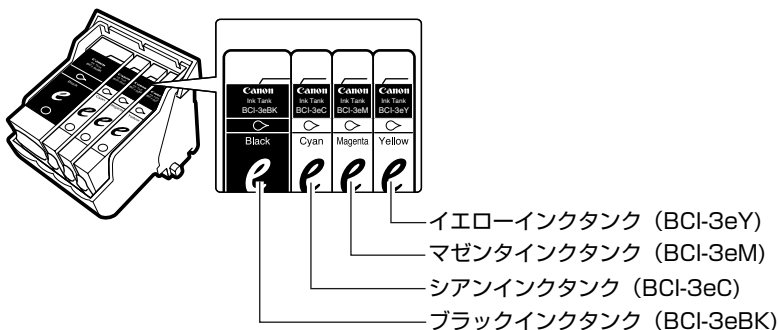
4 拭き終わったら、フィーダカバーを閉めます。

- フィーダカバーがロックされるまでしっかりと閉めてください。きちんと閉まっていないと、本機は正常に動作しません。

5 電源コードを電源コンセントに差しこみ、電源を入れます。

インクタンク

- 最適な印刷品質を保ち、印刷トラブルを避けるため、本書に書かれているキヤノン製の指定インクタンクのご使用をおすすめします。

インクタンクは4種類あります。ブラック、シアン、マゼンタ、イエローです。

インクタンクの取り扱いと保管

- **プリントヘッド（BJカートリッジ）やインクタンクは子供の手が届かない場所に保管してください。もし誤ってインクを飲みこんだときは、ただちに医師の診断を受けてください。**

- 室温で保管してください。
- インクタンクは購入後1年以内に使い切るようにしてください。また、開封したら、6か月以内に使い切ってください。
- タンク内のインクが固まってしまうので、必要なとき以外は本機からインクタンクを取りはずさないでください。
- プリントヘッド（BJカートリッジ）内のインクタンクは、インクを使い切ったらすぐに取りはずして新しいものと交換してください。また、プリントヘッド（BJカートリッジ）は、すべてのインクタンクを取り付けた状態で使ってください。インクタンクが抜けていると、プリントヘッド（BJカートリッジ）内のインクが乾き、印刷品質の低下の原因になります。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消費しているものを装着すると、プリントヘッドがつまる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- インクタンクのインクは衣服などに付くと落ちにくいので、取り扱うときは次のことに注意してください。
  - パッケージから、インクタンクを慎重に取り出してください。
  - インクタンクを分解したり、インクタンクにインクを補充したりしないでください。
  - インクタンクを落としたり振ったりしないでください。
  - プリントヘッドを下に向けて置かないでください。
- インクは水溶性です。印刷した記録用紙に濡れた手で触ったり、水などをこぼさないようにしてください。インクがにじむことがあります。
- 本機で印刷した記録用紙に水性マーカーを使用すると、画像がにじむことがあります。筆圧をかけないようにして、油性マーカーを使用してください。

インクタンクの交換時期

インクタンクの交換頻度は、本機の使用状況により異なります。ハーフトーンやグレースケールの画像をよく印刷する場合は、文字だけの文書を印刷するときよりも大量のインクを使用するので、交換もひんぱんになります。
インクタンクは、通常、次のような場合に交換してください。

- 6か月以上使い続けているとき
- 印刷に抜けがあるとき
- 印刷されない色があるとき
- LCDディスプレイに次のメッセージが表示されるとき
  「Y インクガ アリマセン」(イエローインクタンクが空です)
  「M インクガ アリマセン」(マゼンタインクタンクが空です)
  「C インクガ アリマセン」(シアンインクタンクが空です)
  「K インクガ アリマセン」(ブラックインクタンクが空です)
  2つ以上のインクタンクが空になった場合、複数のインクタンクが表示されます(例:「C Y インクガ アリマセン」)。
  LCDディスプレイに上記のメッセージが表示されたときは、インクタンクを交換してください(→5-6ページ)。メッセージが何も表示されない場合は、フローチャートを参照してエラーの原因を確認してください(→5-7ページ)。

使用済みプリントヘッド(BJカートリッジ)、インクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っています。
キヤノンの"環境保全と資源の有効活用"の主旨にご賛同いただければ、お手数ですが、使用済みのプリントヘッド(BJカートリッジ)、インクタンクを右記マークのある販売店または最寄りのキヤノン販売営業拠点までお持ちください。

事情により、お持ちになれない場合は、使用済みのプリントヘッド(BJカートリッジ)、インクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従って処分してください。

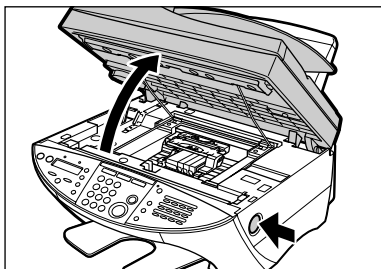
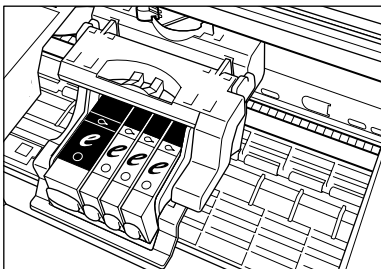
インクタンクの交換

ここでは、プリントヘッド（BJカートリッジ）の中のインクタンクを交換する方法について説明します。インクタンクを交換する前に、「インクタンクの交換時期」を必ずお読みください（→5-5ページ）。

重要

• 印刷や他の処理を行っているときは、インクタンクを交換しないでください。

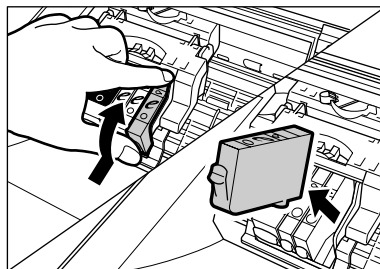
1 電源が入っているか確認します。

2 オープンボタンを押して、スキャナユニットを開きます。

• プリントヘッドホルダが自動的に中央に移動します。

注意

• **プリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。故障の原因になります。**
• **本体内部の金属部分に触れないでください。動作不良や印刷品質の低下の原因になります。**

3 固定つまみを押して、空のインクタンクをスロットから取りはずします。

注意

• **プリントヘッド（BJカートリッジ）は本機から取り出さないでください。**
• **インクタンクは、一度に2つ以上取りはずさないでください。それぞれのインクタンクが正しくスロットに差しこまれるように、1つずつ取りはずして交換してください。スロットをまちがえると、正しくカラー印刷できません。**

• インクが衣服などに付くと落ちにくいので、注意してください。

4 新しいインクタンクを取り付ける手順については、「かんたんスタートガイド」の「プリントヘッド（BJカートリッジ）を取り付ける」を参照してください。

プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドには、インクを記録用紙に吹きつけるためのノズルがあります。このノズルが汚れていると、きれいな印刷ができなくなることがあります。このような場合には、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

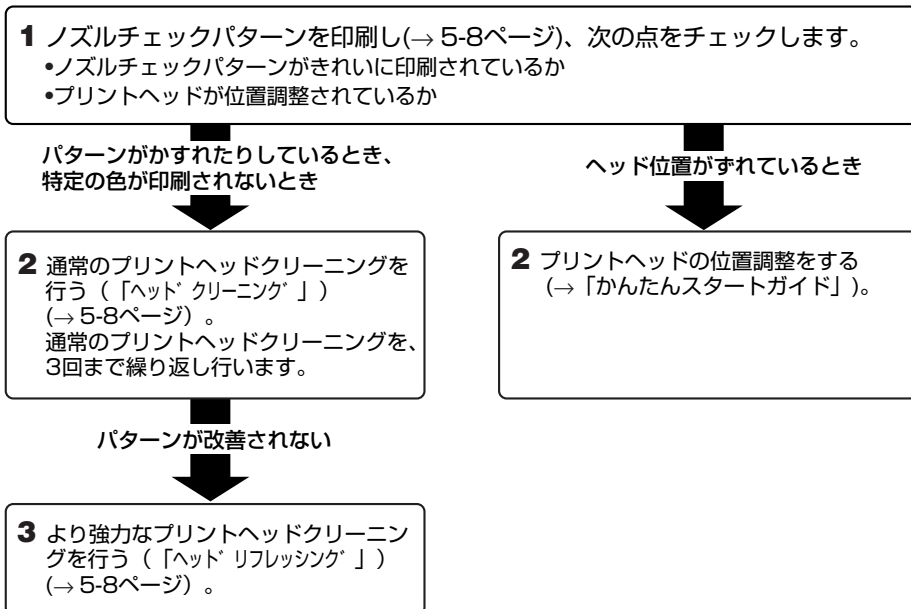
■ メンテナンス操作の流れ

1 ノズルチェックパターンを印刷し(→ 5-8ページ)、次の点をチェックします。
- •ノズルチェックパターンがきれいに印刷されているか
- •プリントヘッドが位置調整されているか

パターンがかすれたりしているとき、特定の色が印刷されないとき

2 通常のプリントヘッドクリーニングを行う（「ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ」）(→ 5-8ページ）。
通常のプリントヘッドクリーニングを、3回まで繰り返し行います。

3 より強力なプリントヘッドクリーニングを行う（「ﾍｯﾄﾞ ﾘﾌﾚｯｼﾝｸﾞ」）(→ 5-8ページ）。

2 プリントヘッドの位置調整をする(→「かんたんスタートガイド」)。

• ヘッドリフレッシングを行ってもパターンが改善されない場合は、電源を切って24時間以上経過した後に、再度ヘッドリフレッシングを行ってください。それでも改善されない場合は、プリントヘッド（BJカートリッジ）が故障している可能性があります。お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡して、プリントヘッド（BJカートリッジ）を交換してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドの状態を調べるときは、ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンで、プリントヘッドの各ノズルからきちんとインクが出ているかどうかを確認できます。

1 **メニュー**ボタンを押します。

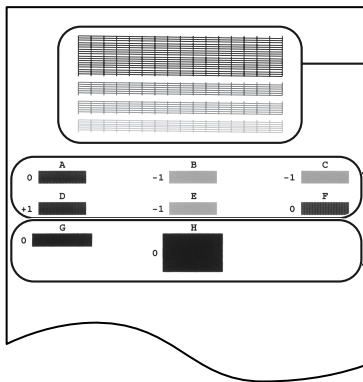
2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「プ゛リンタ　シヨウ　セッテイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  7.プ゛リンタ　シヨウ　セッテイ
```

3 **セット**ボタンを3回押します。

```
プ゛リンタ　シヨウ　セッテイ
  1.クリーニング゛
```

```
クリーニング゛
  1.プ゛リンタ　ノズ゛ル　チェック
```

- ノズルチェックパターンが印刷されます。

ノズルチェックパターン
ノズルチェックパターンが乱れたり欠けたりしているとき、または特定の色が印刷されないとき→「プリントヘッドをクリーニングする」

プリントヘッドの位置
パターンが均一でないとき→「かんたんスタートガイド」の「プリントヘッドの位置を合わせる」

横のすじが目立つとき→「かんたんスタートガイド」の「プリントヘッドの位置を合わせる」

プリントヘッドをクリーニングする

印刷されたノズルチェックパターンがかすれたり欠けたりしているとき、または特定の色が印刷されないときは、プリントヘッドをクリーニングします。

メモ

- プリントヘッドのクリーニングは、少量ですがインクを消費します。クリーニングをひんぱんに行うと、インクの減りが早くなります。

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「プ゛リンタ　シヨウ　セッテイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  7.プ゛リンタ　シヨウ　セッテイ
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
プ゛リンタ　シヨウ　セッテイ
  1.クリーニング゛
```

```
クリーニング゛
  1.プ゛リンタ　ノズ゛ル　チェック
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ヘット゛　クリーニング゛」（通常のプリントヘッドクリーニング）、または「ヘット゛　リフレッシング゛」（強力なプリントヘッドクリーニング）を選びます。

例：
```
クリーニング゛
  2.ヘット゛　クリーニング゛
```

5 **セット**ボタンを押します。

- プリントヘッドのクリーニングが始まります。（約30〜50秒かかります）。

第6章

困ったときには

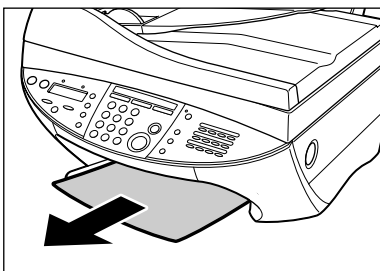
紙づまりが起きたときは

記録紙トレイで記録用紙がつまったとき

記録紙トレイで記録用紙がつまると、LCDディスプレイに「キロクシカ゛ ツマリマシタ」と表示されます。

• C70で、ファクスの受信中に記録用紙がつまったときは、受信したファクスは本機のメモリに保存されます。つまった記録用紙を取り除いて、**リカバリ**ボタンを押すと印刷されます。

記録紙排紙口で記録用紙がつまったとき

1 記録紙排紙口から、つまっている記録用紙をゆっくり引き出します。

• 記録紙排紙口に記録用紙がみつからない場合は、本体内部から記録用紙を取り除いてください（→6-2ページ）。

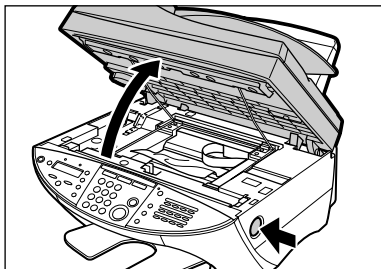
2 **リカバリ**ボタンを押して、もう一度操作してください。

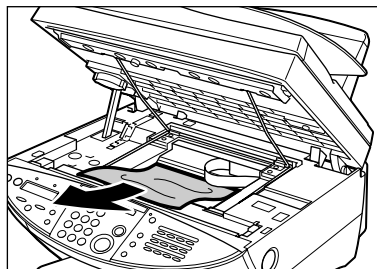
• Windowsアプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面の表示にしたがってください。

6 困ったときには

本体内部で記録用紙がつまったとき

1 電源を切ります。

2 オープンボタンを押して、スキャナユニットを開きます。

3 つまった記録用紙を開口部の中央にゆっくり集めてから、引き出します。

・本体内部の部品に触れないように注意してください。

4 スキャナユニットを閉めて、電源を入れます。

5 **リカバリ**ボタンを押して、もう一度操作してください。

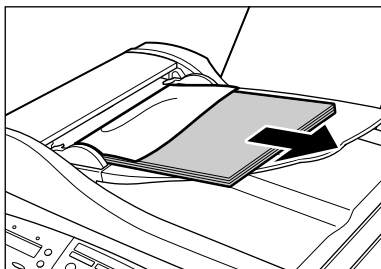
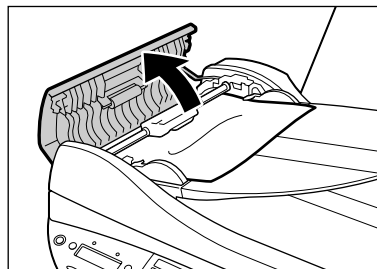
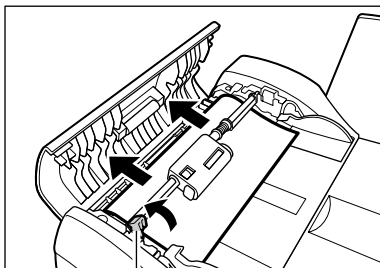
- Windowsアプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面の指示にしたがってください。

ADFに原稿がつまったとき（C70のみ）

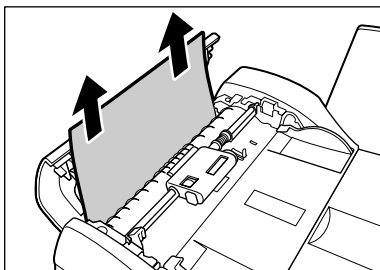
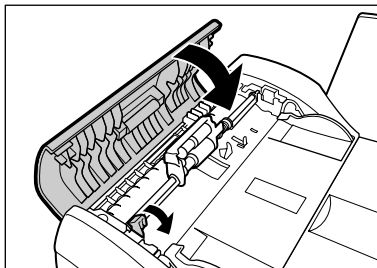
ADFで原稿がつまったりうまく送られないときは、LCDディスプレイに「ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾅｶﾞｽｷﾞﾏｽ」と表示されます。

• ADFにつまった原稿を取り除くときは、本機の電源を切る必要はありません。

1 **ストップ/リセット**ボタンを押します。

2 複数ページの原稿がセットされているときは、つまっている原稿以外のすべての原稿をADFから取り出します。

3 フィーダカバーを開きます。

4 用紙解除レバーを上げて、つまっている原稿を、ローラの下からフィーダカバー側に取り出します。

5 ADFから、つまっている原稿を引き抜きます。

6 用紙解除レバーを下げ、フィーダカバーを閉めます。

メモ

- 原稿の読み取り中に、**ストップ/リセット**ボタンを押して、原稿がADFに残ったときは、スタンバイ表示になってから、**リカバリ**ボタンを押してください。ADFに残った原稿が、自動的に排紙されます。

メッセージとその内容

本機が動作中のときや、エラーが発生したときは、LCDディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。
ここでは、一般的なメッセージとコピーに関するメッセージについて説明します。ファクスに関するメッセージについては、「ファクスガイド」を参照してください。

メッセージ（エラーコード）	原因	対処方法
C インクガ゛ アリマセン	プリントヘッド（BJカートリッジ）のシアンインクタンクが空です。	新しいインクタンクに交換してください（→5-6ページ）。
K インクガ゛ アリマセン	プリントヘッド（BJカートリッジ）のブラックインクタンクが空です。	新しいインクタンクに交換してください（→5-6ページ）。
M インクガ゛ アリマセン	プリントヘッド（BJカートリッジ）のマゼンタインクタンクが空です。	新しいインクタンクに交換してください（→5-6ページ）。
Y インクガ゛ アリマセン	プリントヘッド（BJカートリッジ）のイエローインクタンクが空です。	新しいインクタンクに交換してください（→5-6ページ）。
オマチクダ゛サイ ヒヤシテイマス	印刷中に、プリントヘッドが過熱しすぎた可能性があります。	プリントヘッドの熱が冷めるまで、しばらくお待ちください。温度が下がると、印刷が再開されます。
カートリッシ゛ シ゛ャム	プリントヘッドホルダに何かひっかかっていて動けません。通常は紙づまりが原因です。	つまった記録用紙を取り除いて、**リカバリ**ボタンを押してください。プリントヘッドホルダは、無理に動かさないでください。
カハ゛ーガ゛ シマッテイマセン	スキャナユニットが開いています。	スキャナユニットを閉めてください。
キロクシガ゛ アリマセン (リカバ゛リキー オシテクダ゛サイ)	記録紙トレイに記録用紙が入っていません。	記録紙トレイに記録用紙をセットしてください（→「かんたんスタートガイド」）。記録用紙の量が最大用紙量のマーク（◀）を超えないように注意してください。 セットしたら、**リカバリ**ボタンを押してください。
キロクシガ゛ ツマリマシタ	記録用紙がつまっています。	つまっている記録用紙を取り除き（→6-1ページ）、記録紙トレイに記録用紙をもう一度セットし直してください。セットしたら、**リカバリ**ボタンを押してください。
キロクシノ サイズ゛ヲ チェック	記録紙トレイにセットされている記録用紙のサイズと、用紙選択で指定したサイズが違っています。	正しいサイズの記録用紙をセットするか、用紙選択のサイズ設定を変更し（→4-2ページ）、**リカバリ**ボタンを押してください。
ケ゛ンコウ ヲ チェック（C70のみ）	ADF内で原稿がつまっています。	コピーまたは送信しようとしている原稿をADFから取り出します（→6-2ページ）。**リカバリ**ボタンを押して、もう一度操作してください。

メッセージ（エラーコード）	原因	対処方法
デ゛ータガ゛　コワレマシタ		お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。
フメイナ　カートリッシ゛　デ゛ス	プリントヘッド（BJカートリッジ）が、正しく取り付けられていません。	もう一度プリントヘッド（BJカートリッジ）を取り付けてください。 それでもエラーが解決されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い求めの販売店、または修理窓口にご連絡ください。
プ゜リンタ　ヲ　チェック	プリントヘッドホルダに何かひっかかっていて、動けません。	記録用紙にクリップなどが付いていないか確認します。また、紙づまりのときは、つまった記録用紙を取り除きます（→6-1ページ）。すべて確認したら、**リカバリ**ボタンを押して、もう一度操作してください。
	廃インクタンク（プリントヘッドクリーニングに使用したインクをためておくためのもの）がいっぱいです。	お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡して、廃インクタンクをすぐに交換してください。
メモリガ゛　イッパ゜イデ゛ス （#037） （C70のみ）	何枚ものファクス、長いファクス、内容が細かいファクスを受信して、メモリがいっぱいになっています。	メモリ内の原稿をすべて印刷して（→「ファクスガイド」）、もう一度操作してください。
	一度に、何枚もの原稿、長い原稿、内容が細かい原稿を送信しようとしたか、コピーをとろうとしたため、メモリがいっぱいになっています。	原稿をいくつかに分けて送信、コピーしてください。メモリ内の不要な原稿を印刷、削除して、メモリを空けてください（→「ファクスガイド」）。

記録用紙がうまく送られない

記録用紙がうまく送られない

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎる

- 記録用紙の量が最大用紙量のマーク（◀）を超えないように注意してください（→「かんたんスタートガイド」）。

記録用紙が正しくセットされていない

- 記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされていて、記録紙ガイドが正しく調整されているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

記録用紙が斜めに送られる（斜めに印刷される）

記録用紙が正しくセットされていない

- 記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされていて、記録紙ガイドが正しく調整されているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- 記録用紙の束の右端が記録紙トレイの右側にそろい、記録紙ガイドが記録用紙の左端に合わせてあるか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- 記録紙排紙口にゴミや異物がないか確認してください。

何枚か重なって送られる

記録用紙が正しくセットされていない

- 記録用紙が記録紙トレイに正しくセットされていて、記録紙ガイドが正しく調整されているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

記録用紙どうしがくっついている

- 記録用紙を記録紙トレイにセットするときは、よくさばいて、端をそろえてからセットしてください（→「かんたんスタートガイド」）。

記録紙トレイにセットされている枚数が多すぎる

- 記録用紙の量が最大用紙量のマーク（◀）を超えないように注意してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- 記録紙トレイにセットできる最大枚数を超えないようにしてください（→3-1ページ）。
- 記録紙トレイに記録用紙を無理につめこまないでください。

記録紙トレイに種類の違う記録用紙がセットされている

- 同じ種類の記録用紙だけをセットしてください。
- セットした記録用紙が条件に合っているか確認してください（→3-1ページ）。

OHPフィルムがうまく送られない

OHPフィルムが正しくセットされていない

- OHPフィルムが記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください（→3-9ページ、「かんたんスタートガイド」）。記録紙トレイにセットできるOHPフィルムの枚数は、30枚までです。

紙づまりがたびたび起こる

記録用紙そのものに問題がある

- 記録用紙を記録紙トレイにセットするときは、よくさばいて、端をそろえてからセットしてください（→「かんたんスタートガイド」）。
- 記録用紙や印刷の環境が、条件に合っているか確認してください（→3-1ページ）。

封筒がうまく送られない

封筒が正しくセットされていない

- 封筒が記録紙トレイに正しくセットされているか確認してください（→3-6ページ）。記録紙トレイにセットできる封筒の枚数は、10枚までです。
- ローラを清掃してください（→5-3ページ）。

封筒の種類が条件に合っていない

- 使用できる封筒は、洋形4号および洋形6号です（→3-1ページ）。

メモ

- この他のトラブルについては、「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」を参照してください。

コピーできない

まったくコピーできない

プリントヘッド（BJカートリッジ）の中のインクタンクが空になっている

- LCDディスプレイのエラーメッセージを確認して（→6-4ページ）、必要に応じてインクタンクを交換してください（→5-6ページ）。

原稿が正しくセットされていない

- 一度原稿を取り出し、複数ページの原稿の場合はきちんと端をそろえて、原稿台ガラスまたはADFに正しくセットし直してください（→2-3、2-4ページ）。
- フィーダカバーが閉まっているか確認してください。

プリントヘッド（BJカートリッジ）やインクタンクが、正しく取り付けられていない

- プリントヘッド（BJカートリッジ）とインクタンクが、正しく取り付けられているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- プリントヘッド（BJカートリッジ）を取り付ける前に、プリントヘッド（BJカートリッジ）のオレンジ色の保護キャップを必ずはずしてください（→「かんたんスタートガイド」）。

本機が正常に動作していない

- ノズルチェックパターンを印刷してみてください（→5-8ページ）。

■ 複数部コピーすると、LCDディスプレイに「ﾒﾓﾘｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示される（C70のみ）

コピーする原稿にたくさんの画像が含まれている

- 複数ページの原稿をコピーするときは、原稿をいくつかに分けてコピーしてください。原稿が1ページの場合は、コピーする部数を減らしてください。

メモリがいっぱいである

- メモリ内の原稿を印刷、または削除してメモリを空けてから（→「ファクスガイド」）、もう一度操作してください。

- この他のトラブルについては、「きれいに印刷、コピーできない」を参照してください。

きれいに印刷、コピーできない

■ きれいに印刷できない（印刷が不鮮明、インクがはねる、部分的に欠ける、白い筋がある）

本機でサポートしていない記録用紙を使用している

- 使用できる記録用紙かどうか確認してください（→3-1ページ）。

記録用紙の裏側に印刷している

- 記録用紙には、裏表のあるものがあります。印刷が思ったほど鮮明でないときは、裏返して印刷してみてください。

プリントヘッドのノズルが、目づまりしている

- フローチャートを参照し（→5-7ページ）、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングしてください（→5-8ページ）。

プリントヘッド（BJカートリッジ）やインクタンクが、正しく取り付けられていない

- プリントヘッド（BJカートリッジ）とインクタンクが、正しく取り付けられているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- プリントヘッド（BJカートリッジ）を取り付ける前に、プリントヘッド（BJカートリッジ）のオレンジ色の保護キャップを必ずはずしてください（→「かんたんスタートガイド」）。

プリントヘッド（BJカートリッジ）の中のインクタンクが空になっている

- LCDディスプレイのエラーメッセージを確認して（→6-4ページ）、必要に応じてインクタンクを交換してください（→5-6ページ）。

プリントヘッド（BJカートリッジ）を取り付けた後、プリントヘッドの位置調整をしていない

- プリントヘッドの位置調整をしてください（→「かんたんスタートガイド」）。

▌印刷がぼやけたり、インク汚れの箇所がある

本機でサポートしていない記録用紙を使用している

- 使用できる記録用紙かどうか確認してください（→3-1ページ）。

インクの汚れや紙の粉などが本体内部にたまっている

- 本体内部を清掃してください（→5-2ページ）。

記録用紙の裏側に印刷している

- 記録用紙には、裏表のあるものがあります。印刷が思ったほど鮮明でないときは、裏返して印刷してみてください。

▌印刷面がかすれたり、汚れたりする

紙間選択レバーが正しくセットされていない

- 細かい原稿など、大量にインクを使う原稿を印刷すると、記録用紙が丸まったりこすれたりすることがあります。このようなときは、紙間選択レバーを右側にセットしてください。

▌モノクロで印刷されてしまう（カラー印刷をサポートするアプリケーションから印刷しているのに、白黒印刷しかできない）

プリントヘッド（BJカートリッジ）やインクタンクが、正しく取り付けられていない

- プリントヘッド（BJカートリッジ）とインクタンクが、正しく取り付けられているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

プリントヘッドのノズルが、目づまりしている

- フローチャートを参照し（→5-7ページ）、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングしてください（→5-8ページ）。

▌印刷されない色がある

プリントヘッドのノズルが、目づまりしている

- フローチャートを参照し（→5-7ページ）、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングしてください（→5-8ページ）。

▌カラー印刷でむらがある、または前の行と感じが違う

印刷しようとしている画像に対して、最適な印刷の設定をしていない

- 設定や記録用紙の種類を変えて、印刷してみてください。

▌色合いが変わってしまう

プリントヘッドのノズルが、目づまりしている

- フローチャートを参照し（→5-7ページ）、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングしてください（→5-8ページ）。

プリントヘッド（BJカートリッジ）の中のインクタンクが空になっている

- LCDディスプレイのエラーメッセージを確認して（→6-4ページ）、必要に応じてインクタンクを交換してください（→5-6ページ）。

- この他のトラブルについては、「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」を参照してください。

印刷できない

▌印刷時にエラーランプが点灯し、警告音が鳴る

紙づまりしている

- つまった原稿や記録用紙を取り除いてください（→6-1ページ）。
- 紙づまりでないときは電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜きます。5秒間待ってから、もう一度電源コードを差しこみ、電源を入れてください。問題が解決していれば、エラーランプは消え、プリントヘッドホルダは本機右側のホームポジションに移動し、LCDディスプレイはスタンバイ表示に戻ります。もう一度電源を入れ直してもまだエラーランプが点灯するときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。

▌プリントヘッドホルダは動いているのに、印刷されない

プリントヘッド（BJカートリッジ）やインクタンクが、正しく取り付けられていない

- プリントヘッド（BJカートリッジ）とインクタンクが、正しく取り付けられているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- プリントヘッド（BJカートリッジ）を取り付ける前に、プリントヘッド（BJカートリッジ）のオレンジ色の保護キャップを必ずはずしてください（→「かんたんスタートガイド」）。

プリントヘッドのノズルが、目づまりしている

- フローチャートを参照し（→5-7ページ）、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングしてください（→5-8ページ）。

プリントヘッド（BJカートリッジ）の中のインクタンクが空になっている

- LCDディスプレイのエラーメッセージを確認して（→6-4ページ）、必要に応じてインクタンクを交換してください（→5-6ページ）。

▌印刷された出力内容が期待したものと全然違う

プリンタケーブルが、本体とパソコンにきちんと接続されていない

- プリンタケーブルの接続を確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

プリンタケーブルの種類が正しくない

- プリンタケーブルの種類が正しいか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

プリンタケーブルが長すぎる

- プリンタケーブルの長さが正しいか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

▌記録用紙にずれて印刷される

記録用紙が記録紙トレイの正しい位置にセットされていない

- 記録用紙が正しい位置にセットされているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

メモ

- 記録用紙からはみだして、本体内部のプラテン上に印刷をしてしまったときは、ワードパッドを起動し、白紙を2～3枚印刷してインクを取り除いてください。

▌一行ごとに印刷が止まる

プリントヘッドが過熱しすぎている（過熱しすぎるとプリントヘッドを保護するために、各行の最後の印刷速度が遅くなります）

- 印刷処理を中止してしばらくおき、本機の温度を下げてください。温度が下がったら、もう一度操作してください。

記録用紙が丸まってしまう

インクを多く使って印刷する部分が多い

- 印刷した記録用紙は30〜60秒ほど記録紙排紙トレイに置いたままにして、インクを乾かします。乾いたら表面に触れないように、注意しながら取り出してください。
- 薄い記録用紙にインクを多く使う画像などを印刷すると、丸まってしまうことがあります。厚めの記録用紙を使ってください。

- この他のトラブルについては、「きれいに印刷、コピーできない」および「MultiPASS Suite ソフトウェアガイド」を参照してください。

一般的なトラブル

電源が入らない

電源コードのコネクタとプラグが、本機の差し込み口と電源コンセントにしっかりと差しこまれていない

- 電源コードが本機と電源コンセントにしっかり差しこまれており、本機の電源が入っているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。OAタップに接続しているときは、OAタップが電源コンセントに正しく接続され、OAタップの電源が入っているか確認してください。

電源コードが断線している

- 別の電源コードに交換して電源コードをチェックするか、テスターで通電をチェックしてください。

レポートを印刷できない

プリントヘッド（BJカートリッジ）のブラックインクタンクが、空になっている

- LCDディスプレイのエラーメッセージを確認して（→6-4ページ）、必要に応じてインクタンクを交換してください（→5-6ページ）。

LCDディスプレイに何も表示されない

電源コードのコネクタとプラグが、本機の差し込み口と電源コンセントにしっかりと差しこまれていない

- 電源コードが本機と電源コンセントにしっかりと差しこまれており、本機の電源が入っているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。OAタップに接続しているときは、OAタップが電源コンセントに正しく接続され、OAタップの電源が入っているか確認してください。それでもLCDディスプレイに何も表示されないときは、本機の電源を切って、電源コードを電源コンセントから抜き、5秒間待ってから、もう一度電源コードを差しこみ、本機の電源を入れてください。

どうしても問題が解決しないとき

問題が発生して、この章の説明にしたがって対処してみても、どうしてもうまくいかないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。
キヤノンのサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。

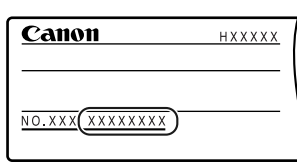
注意

- **本機から変な音や煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。絶対にご自分で修理、分解はしないでください。**

重要

- 本機をご自分で修理、分解されると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

連絡の前に、あらかじめ次のことを確認してください。

- 製品名
  MultiPASS C70/C50
- シリアルナンバー（機体番号）
  機体番号は、本機の背面のラベルに書かれています。

- MultiPASS Suiteのバージョン
  →「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」
- お買い求めの販売店名
- トラブルの詳しい状況
- トラブルの解決のために対処したことと、その結果

第7章

メニューの設定

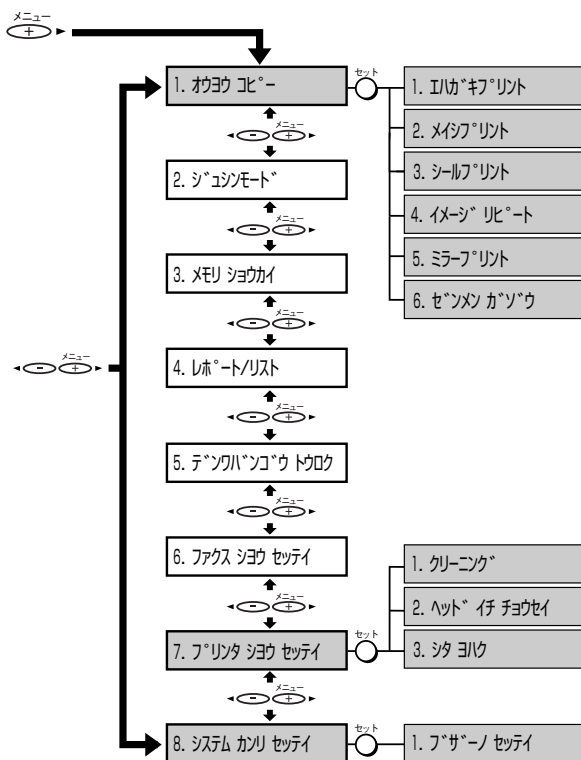
メニューの使い方

本機には、さまざまなメニュー項目があり、操作パネルからメニューを使って本機の機能を設定できます。
ご利用いただけるメニューとLCDディスプレイの表示は、お使いのモデル（C70またはC50）、およびお使いのモード（コピーモード、ファクスモード、スキャンモード）によって異なります。
ここでは、すべてのモードに共通のメニュー、およびコピーモードのメニューについて説明します。
コピーボタンまたは**スキャン**ボタンを押して、モードを選んでください。

- ファクスモードのメニューについては、「ファクスガイド」を参照してください。

メニューを表示する

ここでは、メニュー項目の表示方法を説明します。

- 次の図は、C70のコピーモードのメニューを示しています。

左の図にしたがって、メニューを選んでください。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、変更するメニューを選びます。

3 **セット**ボタンを押します。

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、変更するサブメニューを選びます。

5 **セット**ボタンを押します。

- サブメニューについては、次ページ以降を参照してください。
- **ストップ/リセット**ボタンを押すと、メニューの設定が終了します。

（灰色の枠）のメニューについては、次ページ以降を参照してください。

（白色の枠）のメニューについては、「ファクスガイド」を参照してください。

■ メニュー設定一覧（コピーモード）

メモ

• 選択肢項目の太字は、工場出荷時の設定です。

「応用コピー」メニュー（オウヨウ コピ゜ー）*

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
1. 絵はがきプリント **1. エハカ゛キフ゜リント**	写真をはがきに印刷します（→4-6ページ）。	–
1. はがき半分にプリント **1. ハカ゛キハンフ゛ンニ フ゜リント**	写真をはがきの半分の範囲に印刷します。	–
2. はがき全体にプリント **2. ハカ゛キセ゛ンタイニ フ゜リント**	写真をはがき全体に印刷します。	–
2. 名刺プリント **2. メイシフ゜リント**	名刺用の専用紙に印刷します（→4-7ページ）。	–
3. シールプリント **3. シールフ゜リント**	写真をシール専用紙に印刷します（→4-8ページ）。	–
読み取り範囲 **ヨミトリハンイ**	写真の読み取り範囲を選びます。	**シャシン セ゛ンメン**/シャシン チュウオウ
シールタイプ **シールタイフ゜**	シールタイプを選びます。	2×1/2×2/3×3/**4×4**
4. イメージリピート **4. イメーシ゛ リヒ゜ート**	記録用紙に、画像を繰り返して印刷します（→4-9ページ）。	–
縦 **タテ**	縦に何回繰り返すかを選びます。	1/**2**/3/4
横 **ヨコ**	横に何回繰り返すかを選びます。	1/**2**/3/4
5. ミラープリント **5. ミラーフ゜リント**	鏡に映したように画像を反転して印刷します（→4-11ページ）。	–
6. 全面画像 **6. セ゛ンメン カ゛ソ゛ウ**	記録用紙サイズに収まるように画像を縮小して印刷します（→4-12ページ）。	–

* コピーモードでのみ有効

「プリンタ仕様設定」メニュー(プ゜リンタ　シヨウ　セッテイ)

項目(とサブ項目)	内容	選択肢
1. クリーニング **1. クリーニング゛**	クリーニングに関する機能を選びます。	
1. プリンタノズルチェック **1. プ゜リンタ　ノズ゛ル　チェック**	プリントヘッドのノズルが正しく動作しているか確認するため、ノズルチェックパターンを印刷します(→5-8ページ)。	−
2. ヘッドクリーニング **2. ヘッド゛　クリーニング゛**	通常のプリントヘッドクリーニングを行います(→5-8ページ)。	−
3. ヘッドリフレッシング **3. ヘッド゛　リフレッシング゛**	より強力なプリントヘッドクリーニングを行います(→5-8ページ)。	−
4. 記録ローラクリーニング **4. キロク　ローラ　クリーニング゛**	ローラをクリーニングします(→5-3ページ)。	
2. ヘッド位置調整 **2. ヘッド゛　イチ　チョウセイ**	プリントヘッドの位置調整をします(→「かんたんスタートガイド」)。	−
縦すじパターン **タテスジ゛　パ゜ターン**	縦すじパターンを印刷します。	−
縦すじパターン変更 **タテスジ゛パ゜ターン　ヘンコウ**	AからFのそれぞれについて、最適なパターンを選びます。	A~C:−3~+7(**0**) D~F:−5~+5(**0**)
横すじパターン **ヨコスジ゛　パ゜ターン**	横すじパターンを印刷します。	−
横すじパターン変更 **ヨコスジ゛パ゜ターン　ヘンコウ**	GとHのそれぞれについて、最適なパターンを選びます。	−3~+3(**0**)
3. 下余白 **3. シタ　ヨハク**	カラーコピー、カラーファクス受信時の、記録用紙の下の余白を選びます。	**フツウ**(5mm) オオキイ(27mm)

「システム管理設定」メニュー（システム カンリ セッテイ）

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
1. ブザーの設定 **1. ブ ザ ーノ セッテイ**	音量を調整します。	–
1. キータッチ音量 **1. キー タッチ オンリョウ**	操作パネルのボタンを押したときの音量を調整します。	0（オフ）/1/**2**/3
2. アラーム音量 **2. アラーム オンリョウ**	エラー警告音の音量を調整します。	0（オフ）/1/**2**/3

仕　様

外観、仕様などは改良のため、予告なく変更することがあります。

装置概要

電源

100V±10V（50/60Hz）

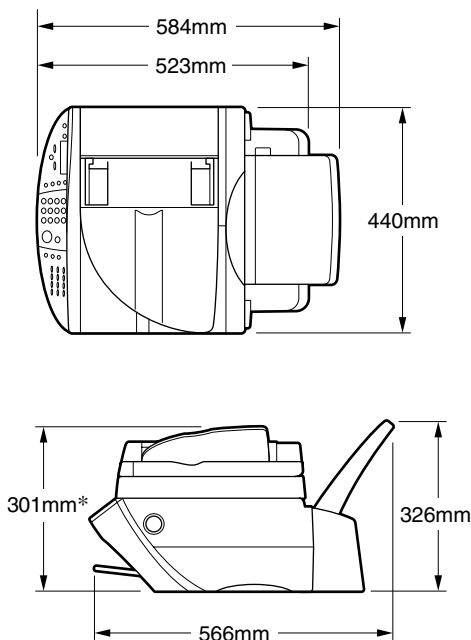
消費電力

- 最大：約42.9W
- スタンバイ：約7.1W(C70)
  約5.4W（C50）

質量

- C70
  12.4Kg（付属部品を含む）
- C50
  10Kg（付属部品を含む）

外形寸法

- C70

＊ C50の場合は228mm

使用環境

- 温度：10〜32.5度
- 湿度：20〜85%

ADF

→2-1ページ

記録紙トレイ容量

→3-1ページ

印刷領域

→3-5、3-10ページ

読みこみ範囲

→2-2ページ

コピー仕様

濃度調整

9段階

拡大/縮小

25〜400%

コピー速度*

- 白黒：
  A4サイズ：約17ページ/分
- カラー：
  カラー高速モード、A4サイズ：約10ページ/分

*キヤノン標準パターンに基づく

複写可能枚数

最大99ページ

インクタンク仕様

インクタンク

インク色：ブラック（BCI-3eBK）
シアン（BCI-3eC）
マゼンタ（BCI-3eM）
イエロー（BCI-3eY）

インクタンクの印刷可能枚数：
ブラックインクタンク
(BCI-3eBK)……………約775枚*[1] 約2000枚*[2]
シアンインクタンク
(BCI-3eC) ………………………………約730枚*[2]
マゼンタインクタンク
(BCI-3eM)………………………………約515枚*[2]
イエローインクタンク
(BCI-3eY) ………………………………約460枚*[2]

*[1] Windows 95/Windows 98/Windows Me ドライバ（初期設定状態）で、JEIDA標準パターンJ1を普通紙に印刷した場合

*[2] Windows 95/Windows 98/Windows Me ドライバ（初期設定状態）で、ISO JIS-SCID No.5を普通紙に印刷した場合

プリンタ仕様

印字方式
オンデマンドのバブルジェットインク

給紙方法
自動給紙

記録用紙のサイズと質量
→3-1ページ

推奨記録用紙
→3-3ページ

印字速度*
- カラー印字、高速：12ページ/分
- 白黒印字、高速：17ページ/分

*キヤノン標準パターンに基づく

最大印字幅
203.2 mm

解像度
2400（水平方向）× 1200（垂直方向）dpi

スキャナ仕様

読み取り画像処理
- ハーフトーン：グレー256階調
- カラー：16,777,216色

読み取り解像度
光学600 × 1200dpi
最高9600dpi

有効読み取り幅
214mm

互換性
TWAIN

読み取り速度*
- 白黒文字/グレースケール：最速5.3秒/ページ
- カラー：最速15.8秒/ページ

* A4サイズの場合

索 引

き

く

け

こ

り

ろ

I

索引

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

キヤノン販売お客様相談センター
（全国共通番号）

0570-01-9000

全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従ってMultiPASSシリーズの該当番号 33 をお話しください。
引き続き音声ガイダンスに従ってお話しください。音声認識後、商品担当者に繋がります。
[受付時間]　〈平日〉9:00～12:00/13:00～17:00（土・日・祝日・1/1～3を除く）

※携帯電話･PHSをご使用の方は 043-211-9631 をご利用ください。
※音声応答システム･受付時間･該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。

■アクセスポイント
札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・水戸・つくば・大宮・千葉・東京・立川・横浜・厚木・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・甲府・沼津・静岡・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・金沢・富山・和歌山・福井・京都・大津・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・福山・山口・鳥取・松江・高松・徳島・高知・松山・北九州・福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区三田3-11-28

100V

HT1-1127-000-V.1.0　XX2001A

PRINTED IN THAILAND